

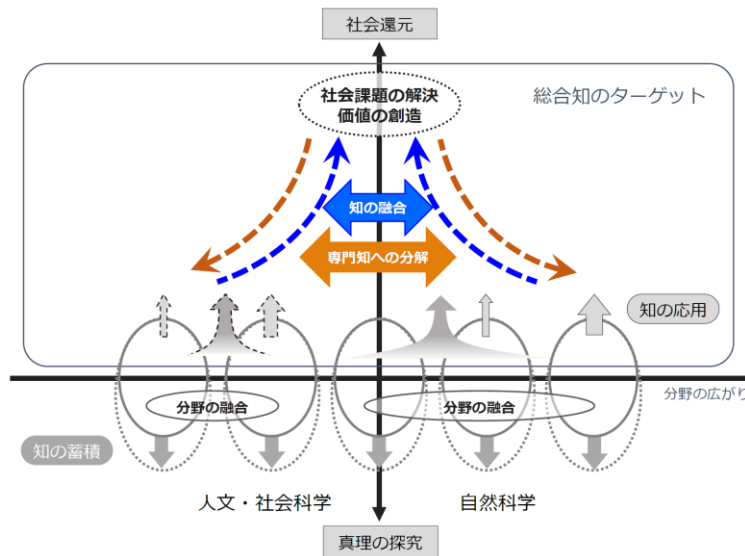
# 人文科学・社会科学系の 大学院に関する 背景データについて

# 人文科学・社会科学分野の大学院教育改革について

## 「科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）」

- 人文・社会科学の知と自然科学の知の融合による人間や社会の総合的理解と課題解決に貢献する「総合知」に関して、基本的な考え方や、戦略的に推進する方策について2021年度中に取りまとめる。あわせて、人文・社会科学や総合知に関連する指標について2022年度までに検討を行い、2023年度以降モニタリングを実施する。  
【科技、文】

### 「総合知」のイメージ



出典：総合科学技術・イノベーション会議有識者議員懇談会（令和3年7月15日）

### 7. 総合知戦略の検討スケジュール（案）

- 木曜会合の有識者議員懇談会で議論を深め、基本的な考え方や、戦略的に推進する方策について2021年度中に取りまとめる。

#### 【木曜会合の開催予定（案）】

##### 第1回（キックオフ） 7月15日（木）

テーマ：総合知を戦略的に推進する方策（総合知戦略）の検討について

##### 第2回 9月30日（木）

テーマ：総合知の事例紹介 ①産学官連携

ゲスト：東大-ダイキン産学連携、北大COI

論点：総合知の基本的考え方や推進方策の洗い出し。

##### 第3回 11月11日（木）

テーマ：環境整備について その1

ゲスト：慶応大学 南澤教授（ムーンショットPM）、東工大 梶川教授（イノベーション、人材）

論点：総合知人材育成、評価、場

##### 第4回 12月9日（木）【仮】

テーマ：環境整備について その2

ゲスト案：SIPやムーンショットのプロジェクトリーダー等

論点：今後の社会実装事業、内閣府事業(MSや次期SIP)で考慮すべき事項

##### 第5回 2月3日（木）【仮】

テーマ：総合知戦略(案)について

年度末 統合イノベーション戦略会議（次回）

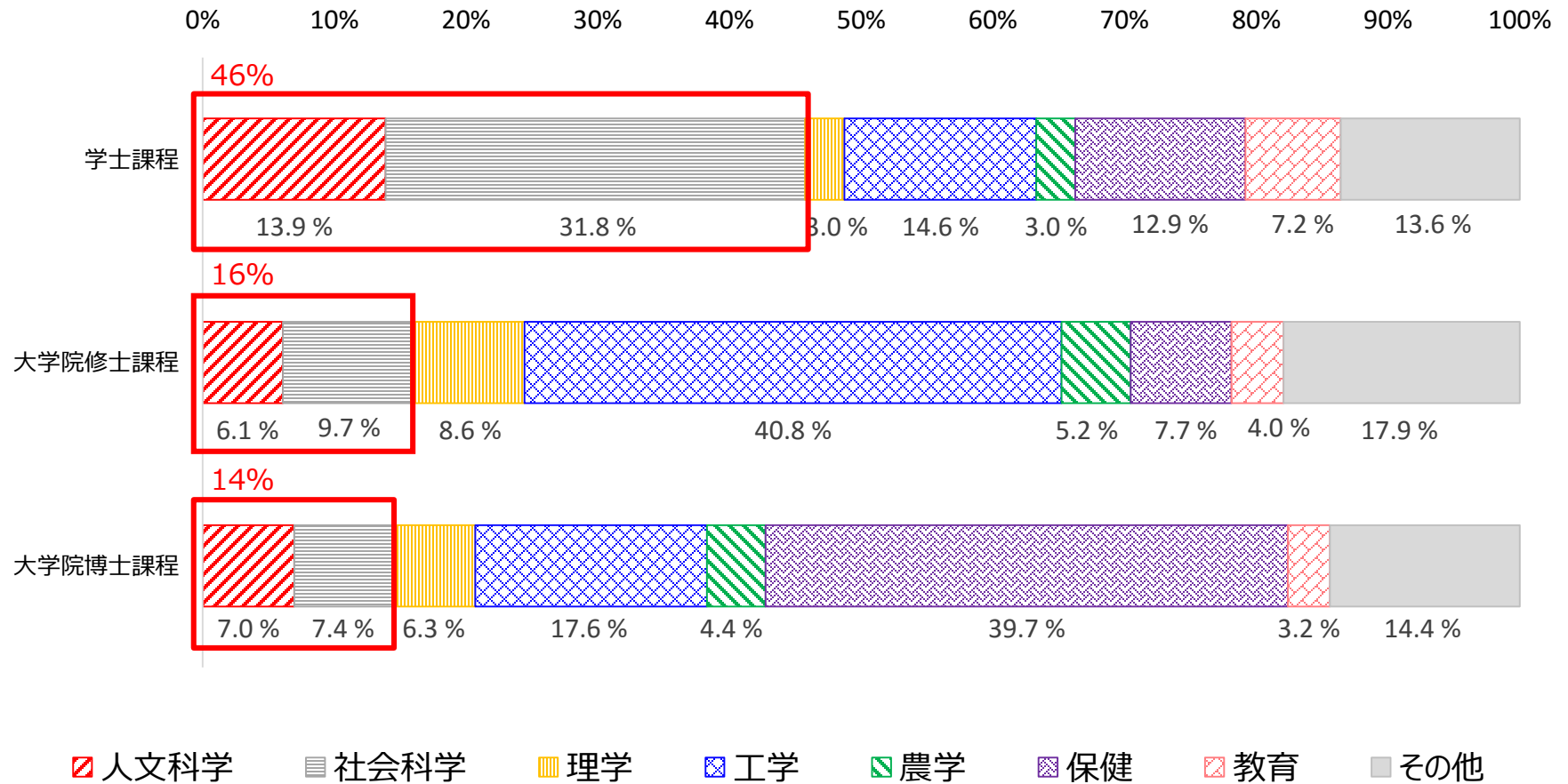
出典：総合科学技術・イノベーション会議有識者議員懇談会（令和3年11月11日）

- 上述の「総合知」に関する方策も踏まえ、社会のニーズに沿ったキャリアパスの開拓を進めつつ、大学院教育改革を通じた人文・社会科学系の人材育成の促進策を検討し、2022年度までに、その方向性を定める。【科技、文】

# 学生数

# 学科・専攻分野別学生数の比率

- 令和2年度時点で学士課程の人文科学系・社会科学系の学生割合は約46%であるのに対し、修士課程では約16%、博士課程では約14%となっている。



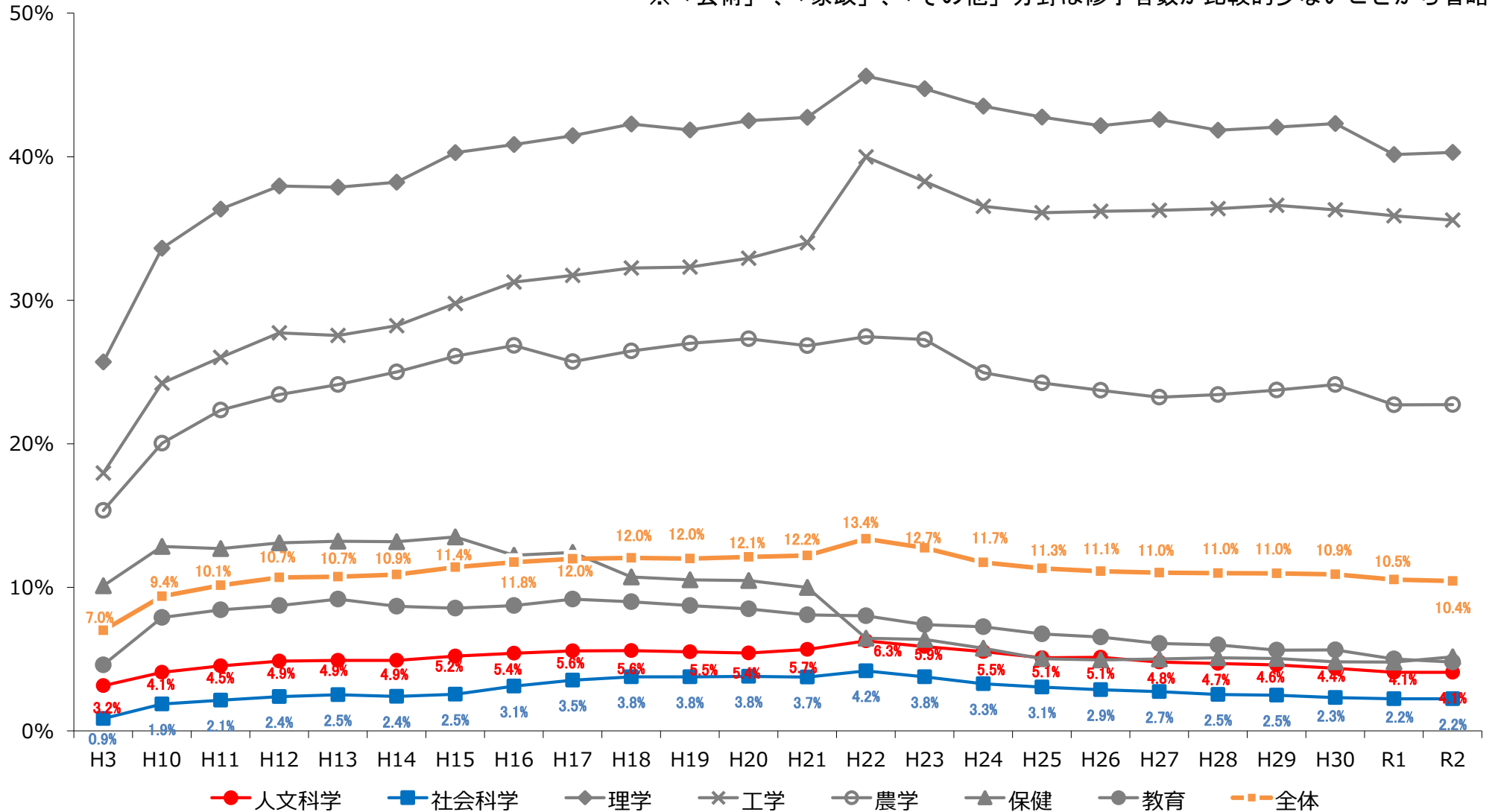
※「その他」には学科系統分類における「その他」の他、「家政」、「芸術」、「商船」を含む。

出典：学校基本調査

# 学士課程修了者の進学率の推移（分野別）

- 修士進学率は全体として横ばいの傾向。
- 人文科学・社会科学系の修士進学率は他の分野と比較して低い。

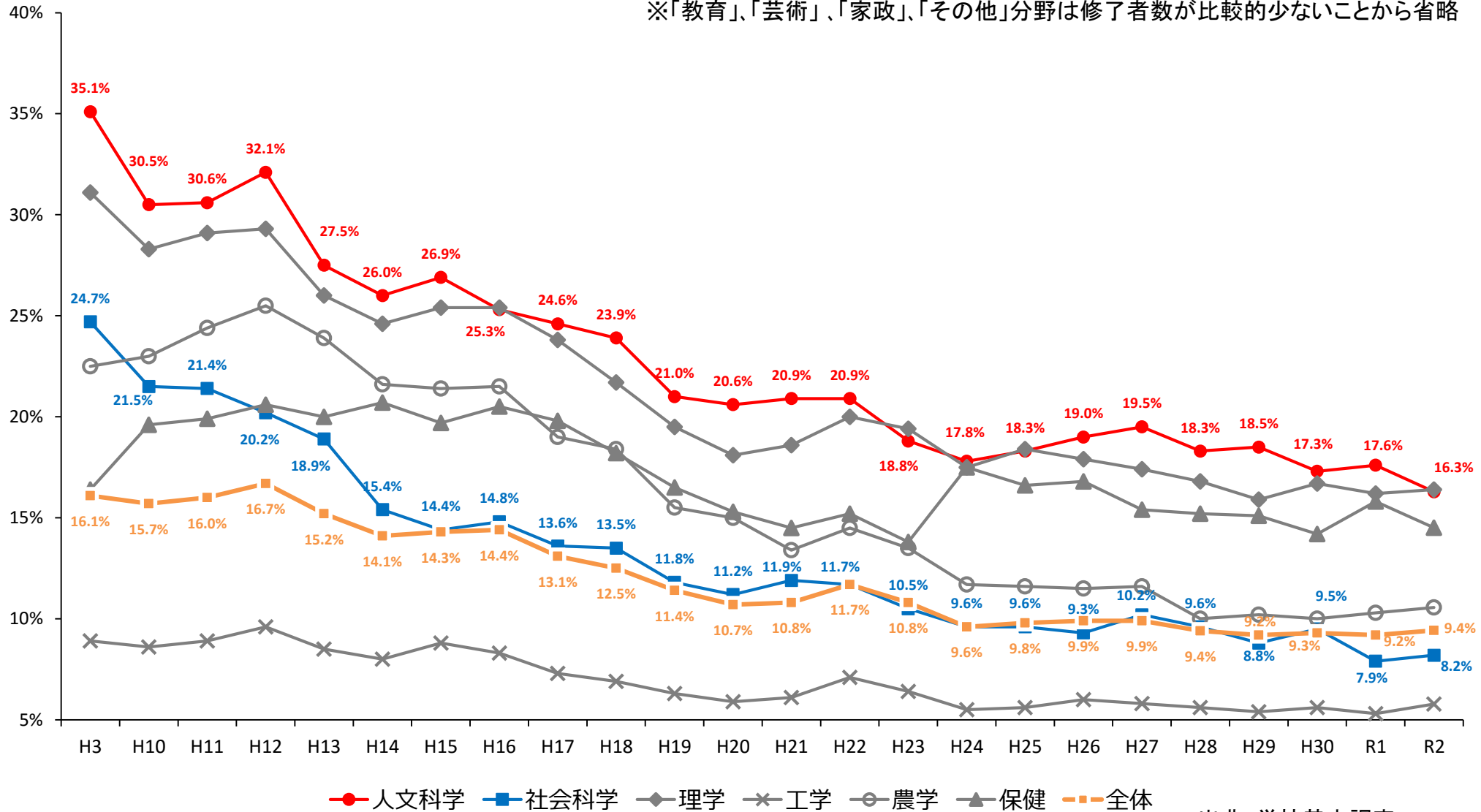
※「芸術」、「家政」、「その他」分野は修了者数が比較的少ないことから省略



# 修士課程修了者の進学率の推移（分野別）

- 博士進学率は全体として減少傾向。
- 人文科学系の博士進学率は他の分野と比較して高く、社会科学系の博士進学率は工学系に次いで低い。

※「教育」、「芸術」、「家政」、「その他」分野は修了者数が比較的小さいことから省略

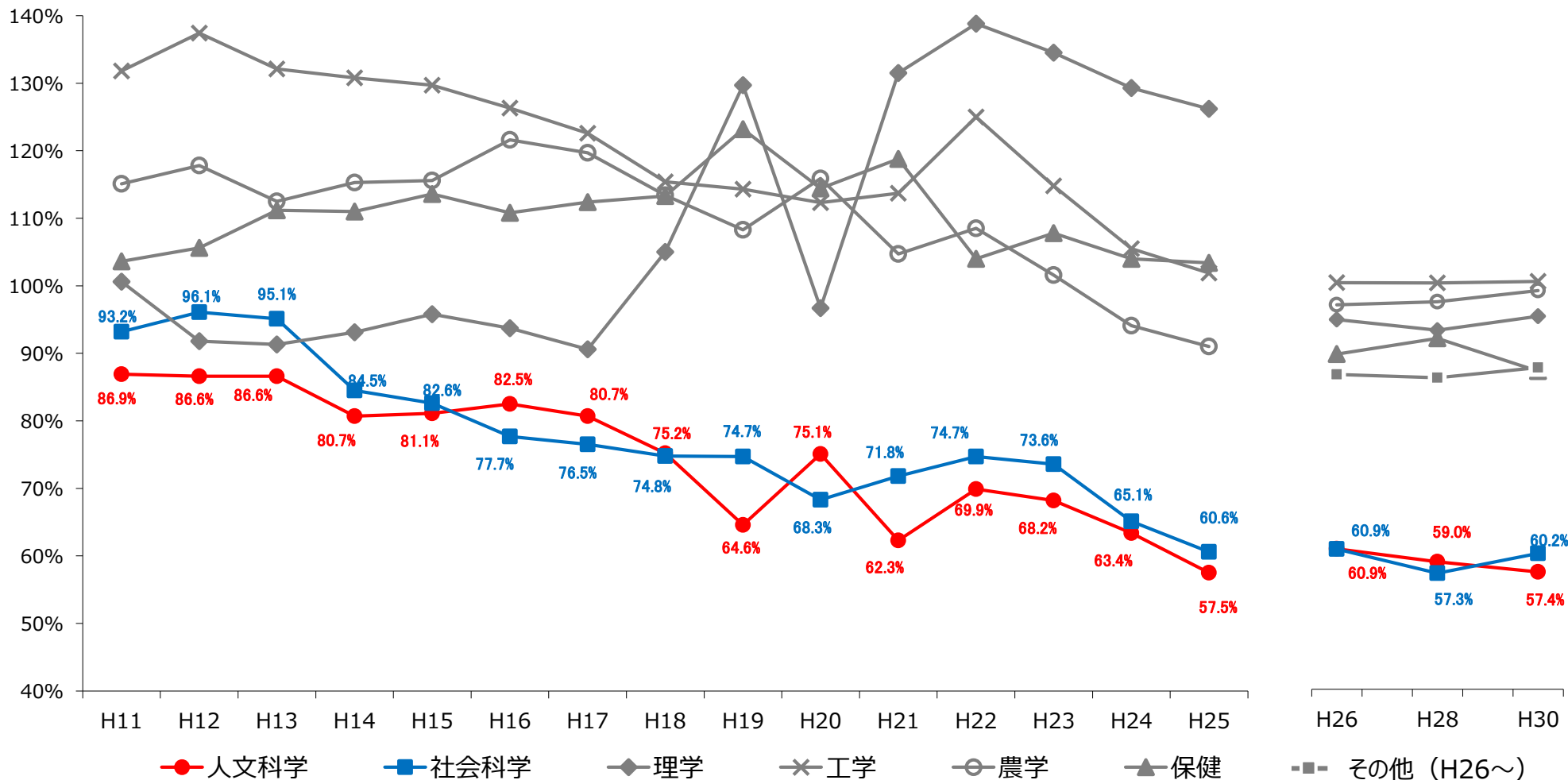


出典：学校基本調査

# 修士課程入学者充足率の推移（分野別）

● 人文科学系と社会科学系の修士課程の入学者充足率（＝入学者／入学定員）は、他の分野と比べて低く、6割程度となっている。

※平成25年度以前と平成26年度以降のグラフは出典が異なる。

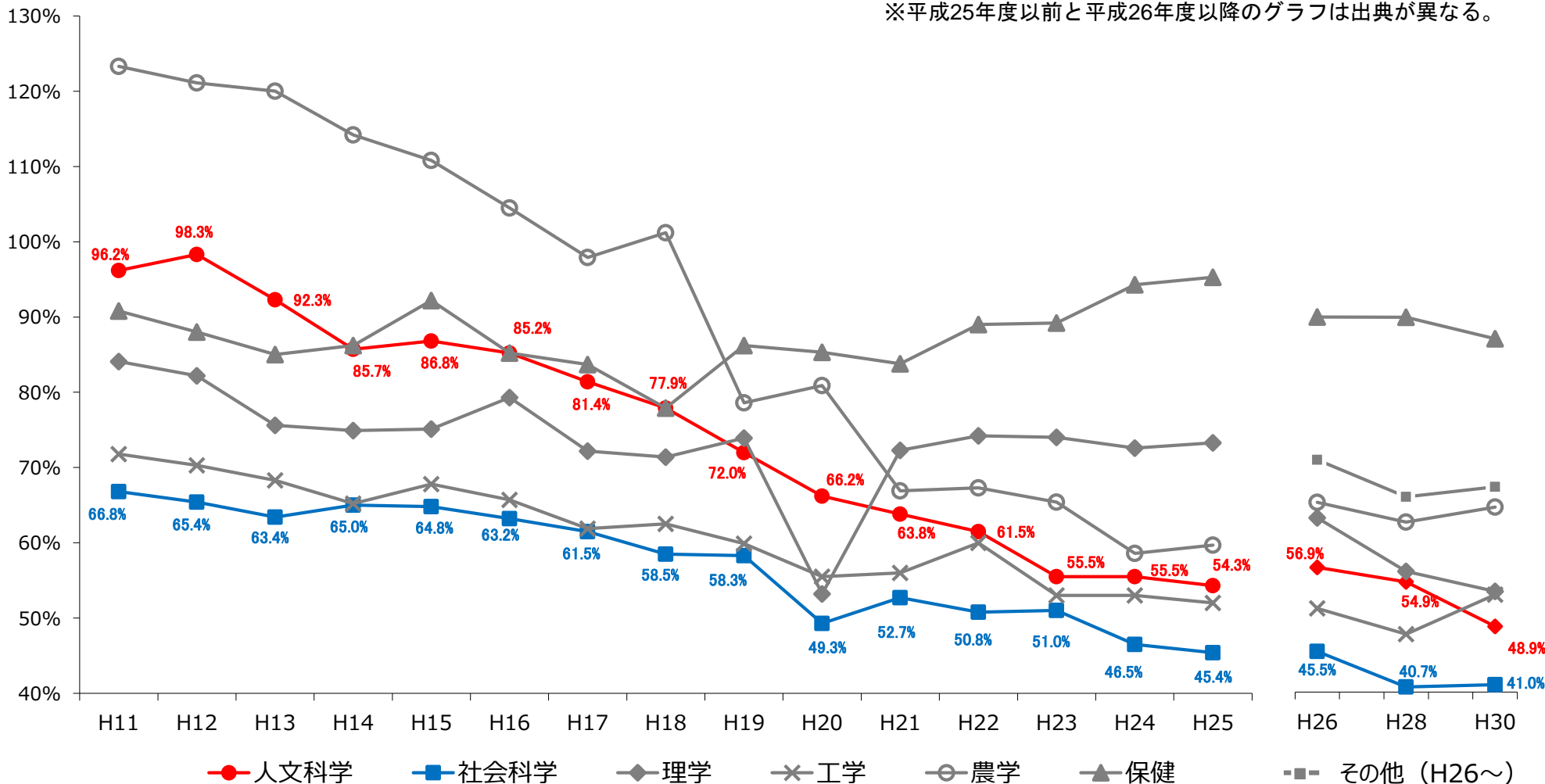


出典：（平成25年まで）学校基本統計及び全国大学一覧より文部科学省作成  
 （平成26年）「大学院における「第2次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（平成28年2月 株式会社リベルタス・コンサルティング）＜文部科学省：先導的・大学の改革推進委託事業＞  
 （平成28年）「大学院における「第3次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（平成30年3月 株式会社リベルタス・コンサルティング）＜文部科学省：先導的・大学の改革推進委託事業＞  
 （平成30年）「大学院における教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（令和2年3月 株式会社リベルタス・コンサルティング）＜文部科学省：先導的・大学の改革推進委託事業＞

# 博士課程入学者充足率の推移（分野別）

- 博士課程の入学者充足率（＝入学者／入学定員）は全体的に低下傾向にあり、平成30年度においては人文科学・社会科学系の入学者定員充足率は5割を下回っている。

※平成25年度以前と平成26年度以降のグラフは出典が異なる。



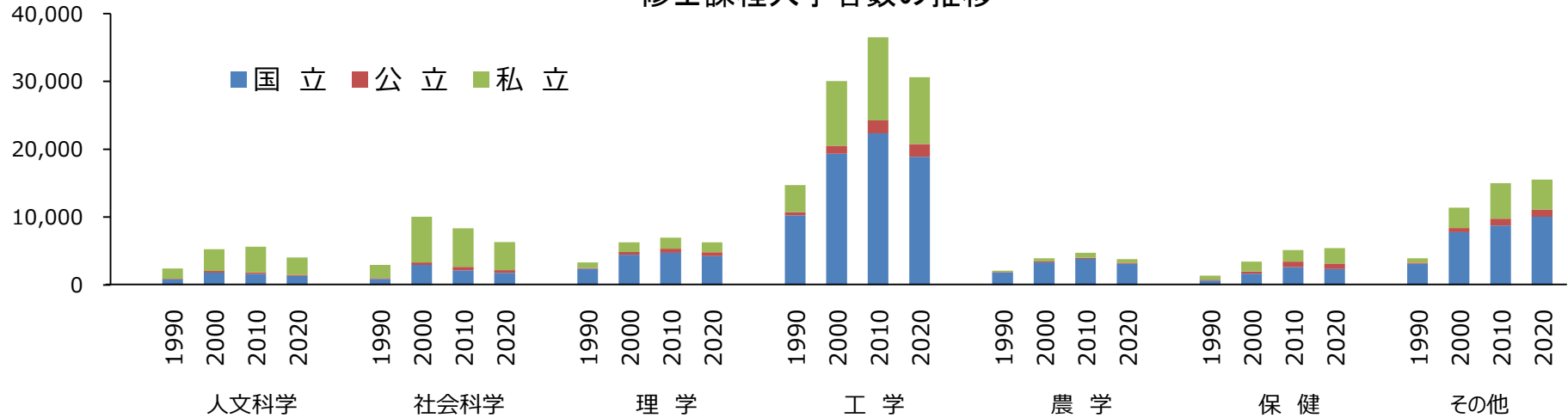
出典：（平成25年まで）学校基本統計及び全国大学一覧より文部科学省作成  
 （平成26年）「大学院における「第2次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（平成28年2月 株式会社リベルタス・コンサルティング）＜文部科学省：先導的の大学改革推進委託事業＞  
 （平成28年）「大学院における「第3次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（平成30年3月 株式会社リベルタス・コンサルティング）＜文部科学省：先導的の大学改革推進委託事業＞  
 （平成30年）「大学院における教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」（令和2年3月 株式会社リベルタス・コンサルティング）＜文部科学省：先導的の大学改革推進委託事業＞



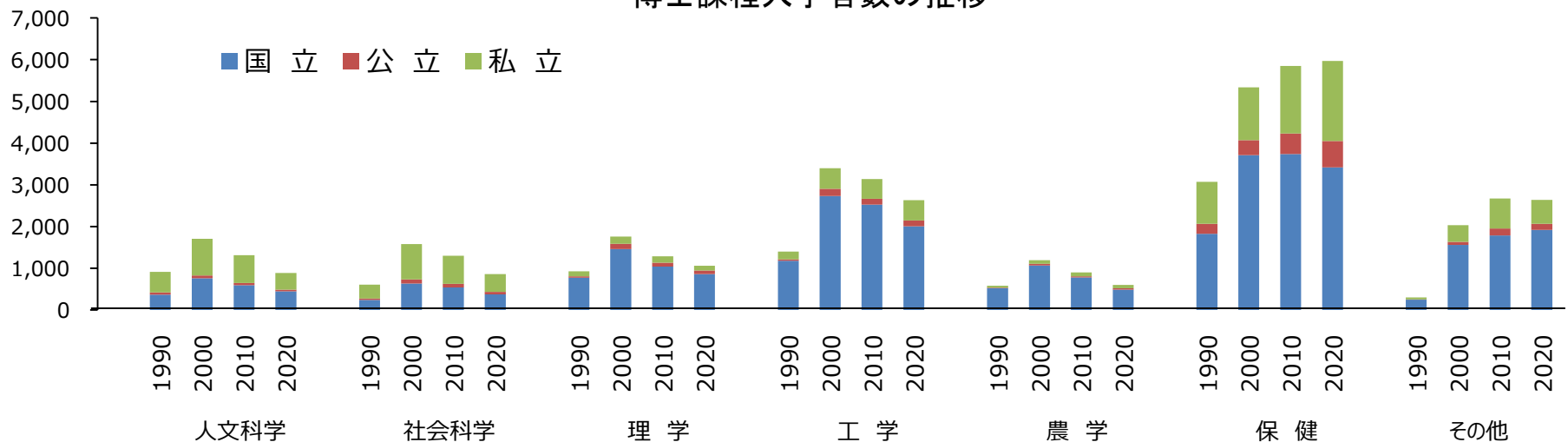
# 修士・博士課程入学者数の推移

- 修士・博士課程への入学者数について、人文科学分野及び社会科学分野では、理工系と比べて私立大学が占める割合が大きい。

## 修士課程入学者数の推移



## 博士課程入学者数の推移



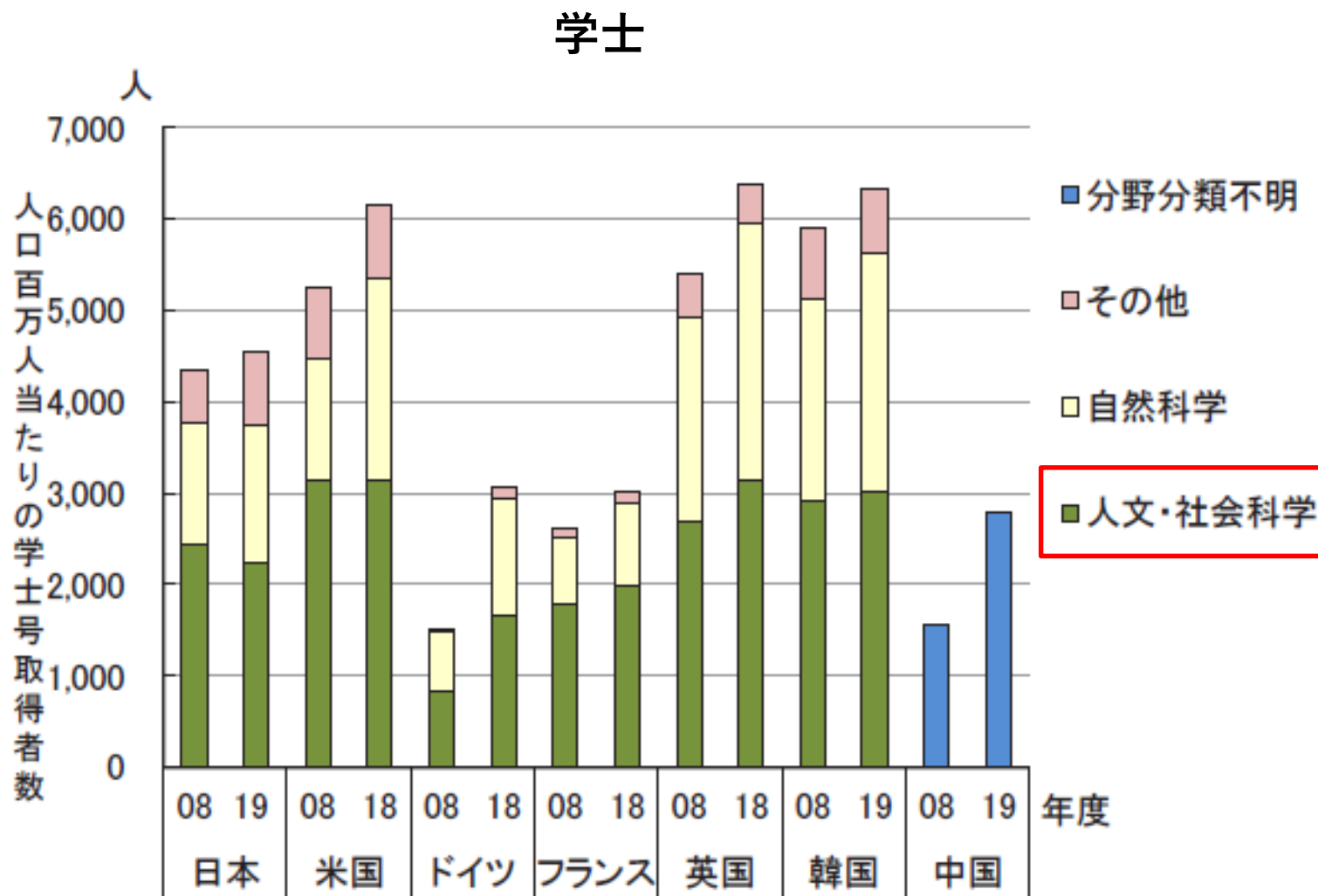
※「その他」には学科系統分類における「その他」の他、「教育」、「家政」、「芸術」、「商船」を含む。

出典：文部科学省 科学技術・学術政策研究所、「科学技術指標2021」を基に加工・作成

# 学位取得数

# 人口100万人当たりの学士号取得者数の国際比較

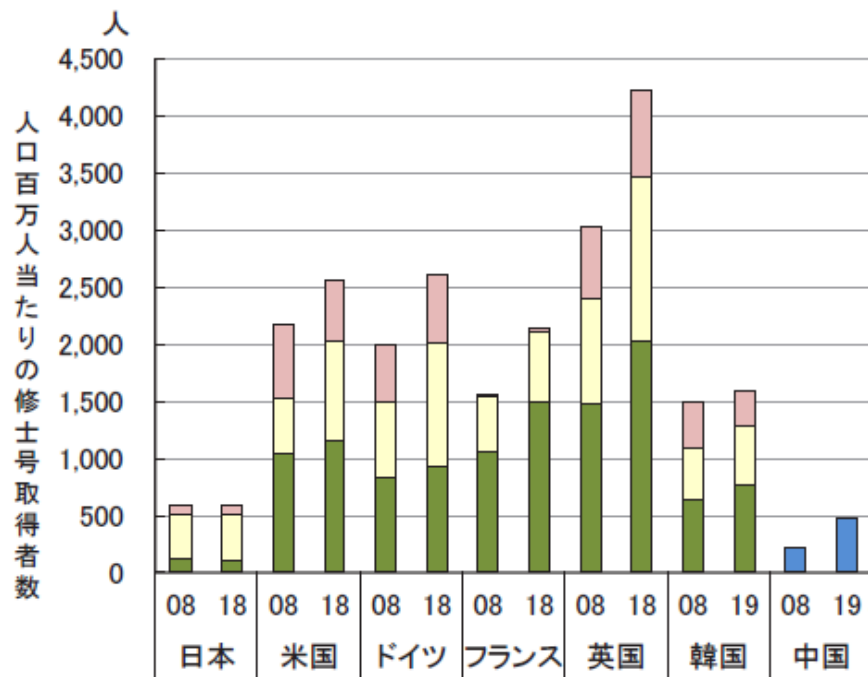
- 人文・社会科学分野における人口当たりの学士号取得者数は、諸外国と比較して大きな差はない。



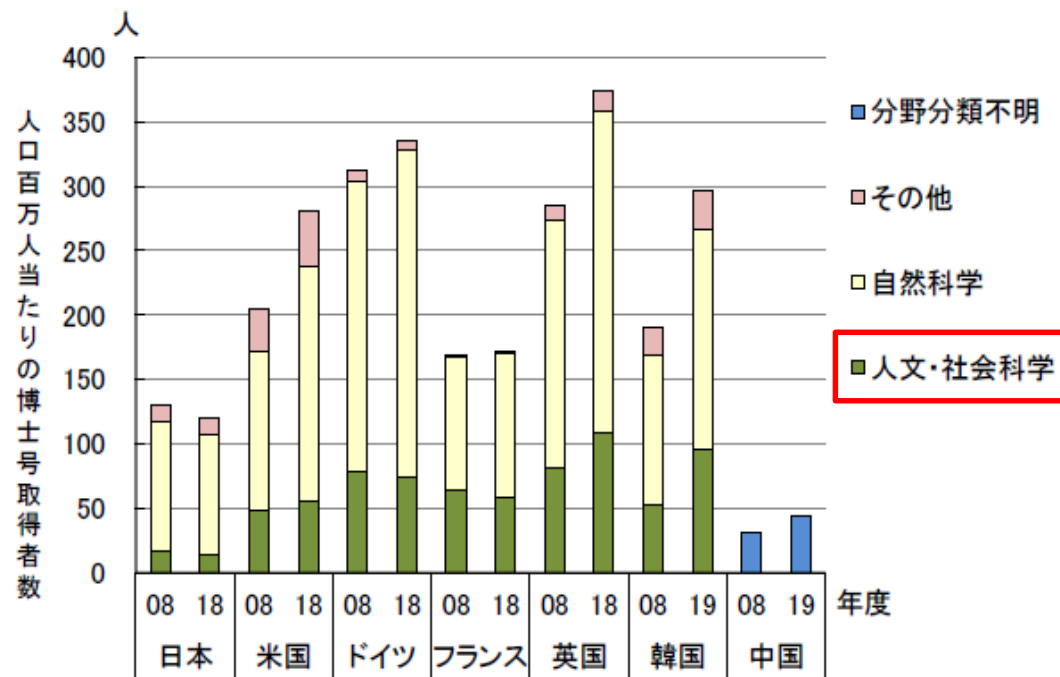
# 人口100万人当たりの修士号・博士号取得者数の国際比較

- 人文・社会科学分野における人口当たりの修士号・博士号取得者数は、諸外国と比較して少ない。

## 修士

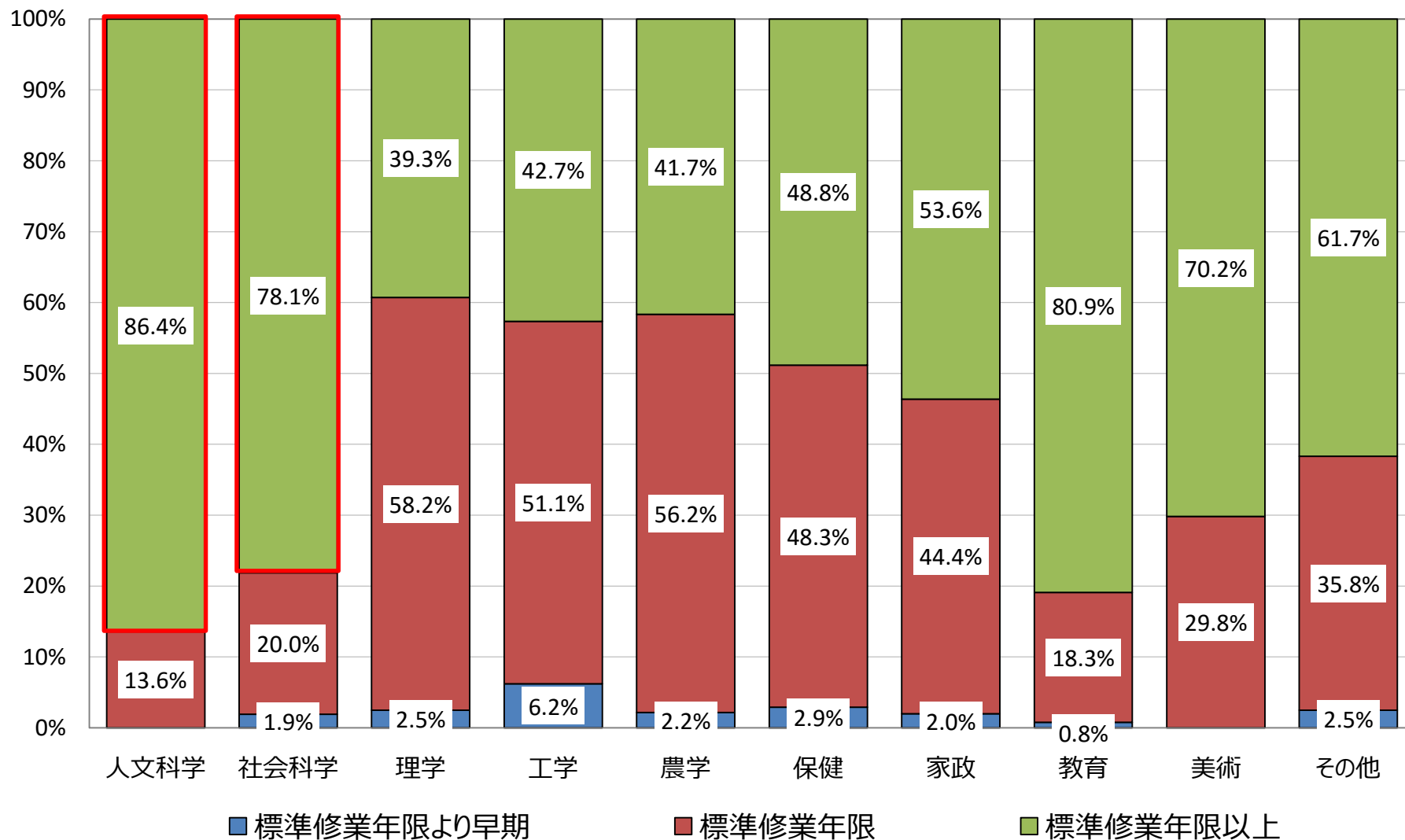


## 博士



# 課程博士のうち標準修業年限からの超過年別割合（H30年度）

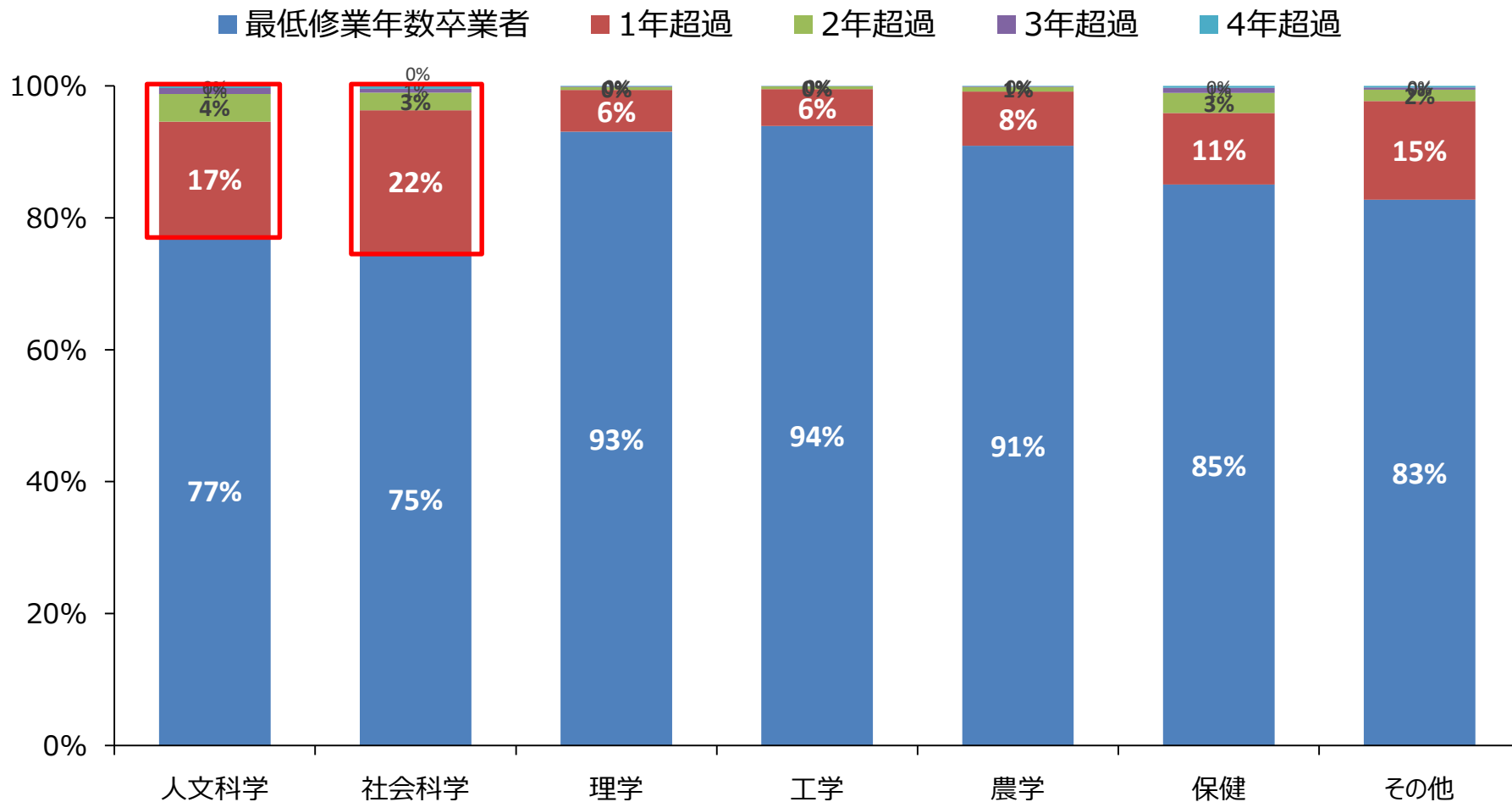
- 人文科学分野では、博士課程修了者（課程博士）の約9割が標準修業年限を超過している。
- 社会科学分野では、博士課程修了者（課程博士）の約8割が標準修業年限を超過している。



# 修士課程卒業者の修業年限超過率

- 人文科学、社会科学分野の修士課程卒業者の修業年限超過率は約2割であり、他の分野と比較して超過率が高い。

修士課程卒業者



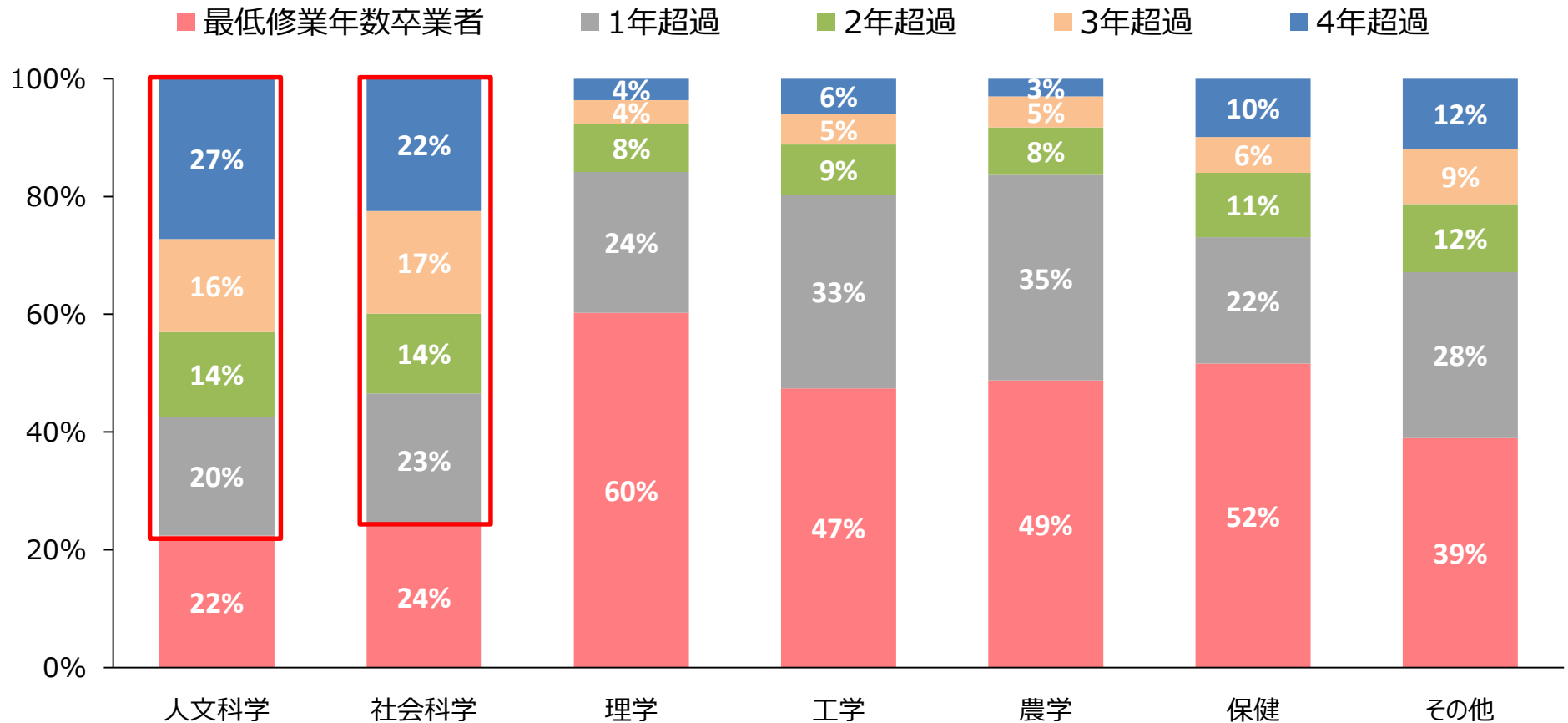
※「その他」には学科系統分類における「その他」の他、「教育」、「家政」、「芸術」、「商船」を含む。  
※修士課程卒業者は、「その他（編入者）」を除いた値。

出典：令和2年度学校基本調査

# 博士課程卒業者の修業年限超過率

- 人文科学、社会科学分野の博士課程卒業者（満期退学者を含む）の修業年限超過率は約8割であり、他の分野と比較して超過率が高い。

博士課程卒業者



※博士課程卒業者は満期退学者を含んだ値。

※「その他」には学科系統分類における「その他」の他、「教育」、「家政」、「芸術」、「商船」を含む。

※博士課程卒業者は、「その他（編入者）」を除いた値。

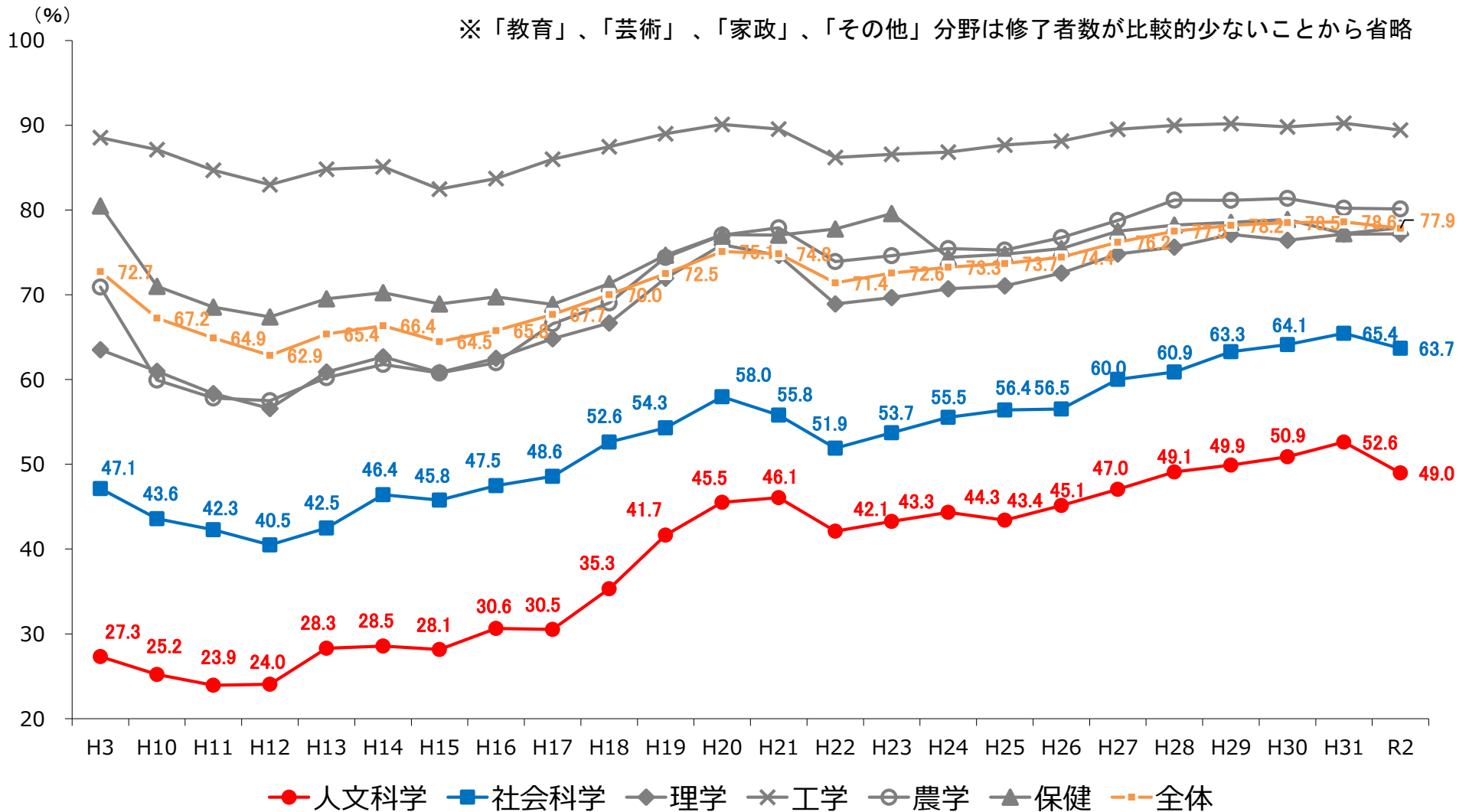
出典：令和2年度学校基本調査

# キャリアパス



# 修士課程修了者の就職率の推移（分野別）

- 人文科学、社会科学分野の修士課程修了者の就職率は、他の分野に比べて低い傾向が続いている。近年は緩やかな上昇傾向が見られていたが、R2年度は下落した。

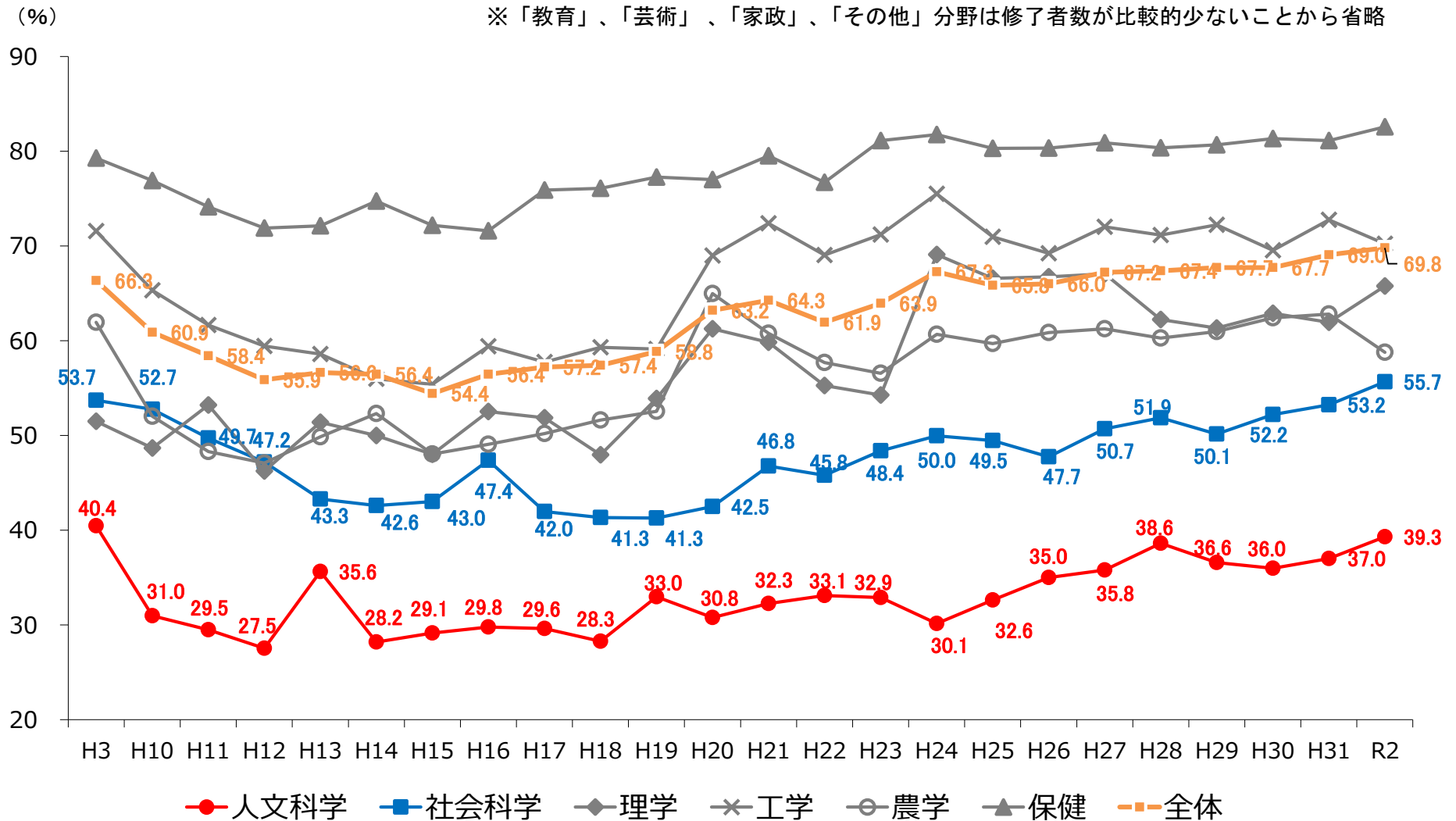


※各年度は修了年度

出典：学校基本調査

# 博士課程修了者の就職率の推移（分野別）

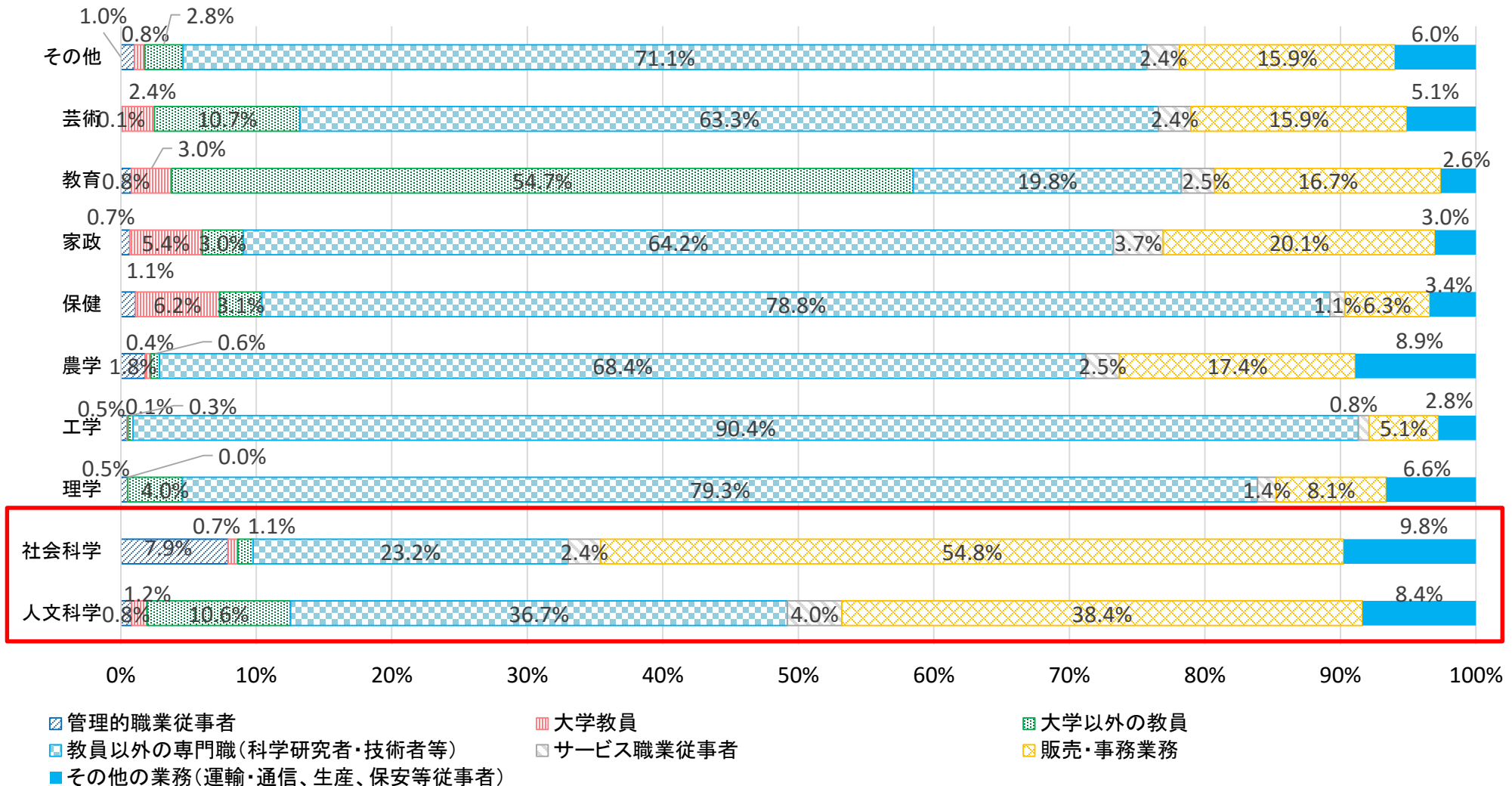
- 人文科学、社会科学分野の博士課程修了者の就職率は、他の分野に比べて低い傾向が続いている。



※各年度は修了年度

# 修士課程修了後の就職先（分野別・職業別）

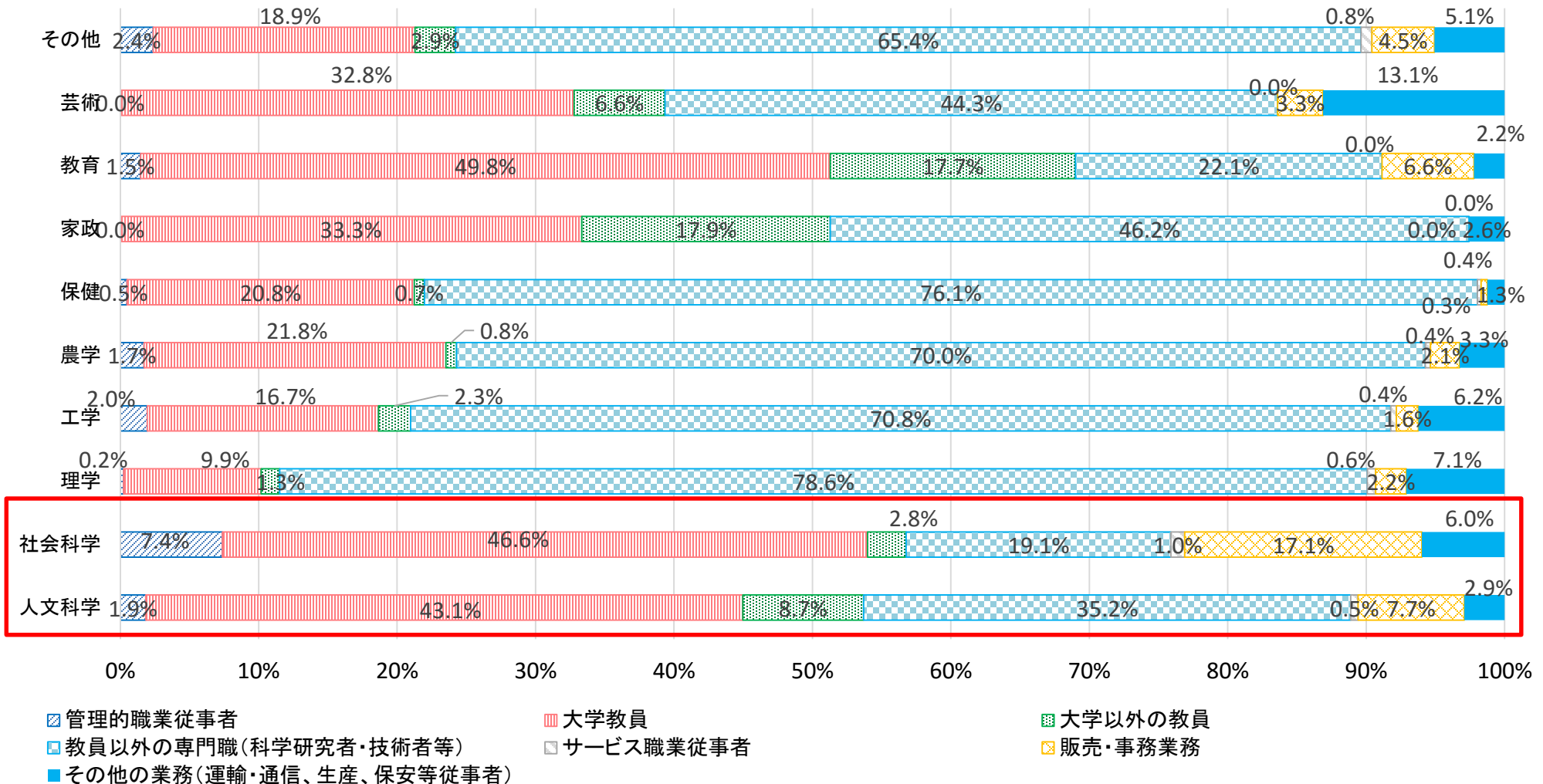
- 理工農・保健分野においては、修士課程修了後、技術者等として専門的職業に従事する者の割合が高く、人社系分野においては販売・事務業務に従事する者の割合が高い。



※ 所定の単位を取得し、学位を取得せず退学した者（いわゆる満期退学者）の数を含む

# 博士課程修了後の就職先（分野別・職業別）

- 理工農・保健分野においては、博士課程修了後、大学教員以外の専門的職業に従事する者の割合が高く、人社系分野においては大学以外も含めて教員になる者の割合が高い。

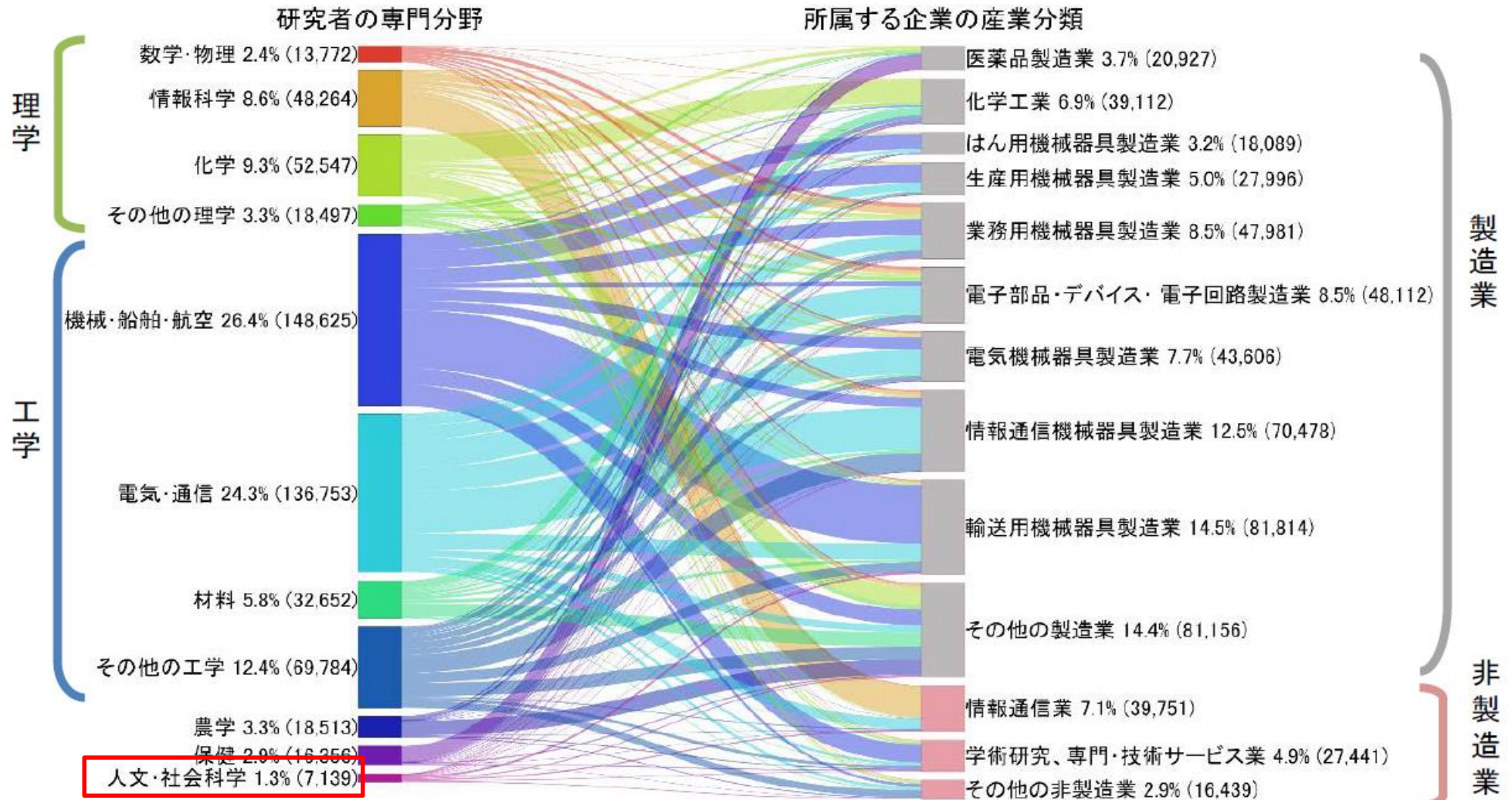


※ 所定の単位を取得し、学位を取得せず退学した者(いわゆる満期退学者)の数を含む

出典: 学校基本調査

# 日本の企業における研究者の専門分野（2020年）

- 日本の企業内で人文・社会科学を専門分野とする研究者は全体の1.3%と少ない。
- 人文・社会科学分野を専門とする研究者の所属先は、多い順に「輸送用機械器具製造業」、「情報通信業（うち情報サービス業）」、「業務用機械器具製造業」である。



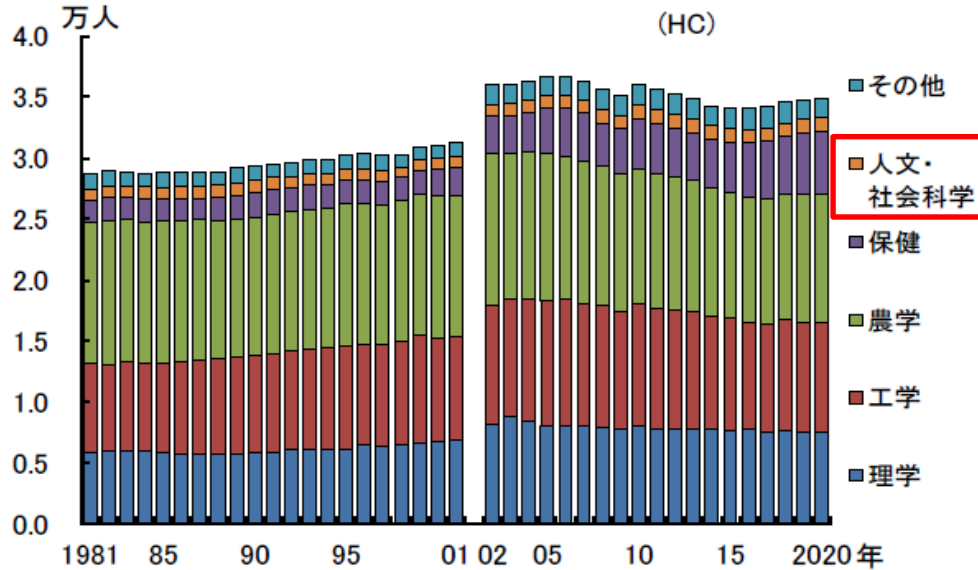
※研究者の専門分野は、研究者の現在の研究（業務）内容により分類されている。

出典：科学技術指標2021

# 日本の公的機関における専門別研究者

- 日本の公的機関における人文・社会科学を専門とする研究者の活用は低調。

## 研究者数の推移



## 専門別研究者の所属先 (2020年)

(単位: 人)

専門分野	公的機関			
	計	国営	公営	特殊法人・独立行政法人
理学	7,582	515	1,490	5,577
工学	8,926	824	1,978	6,124
農学	10,590	207	5,894	4,489
保健	5,116	562	1,260	3,294
人文・社会科学	1,081 (3%)	288	232	561
その他	1,625	124	881	620
総数	34,920	2,520	11,735	20,665

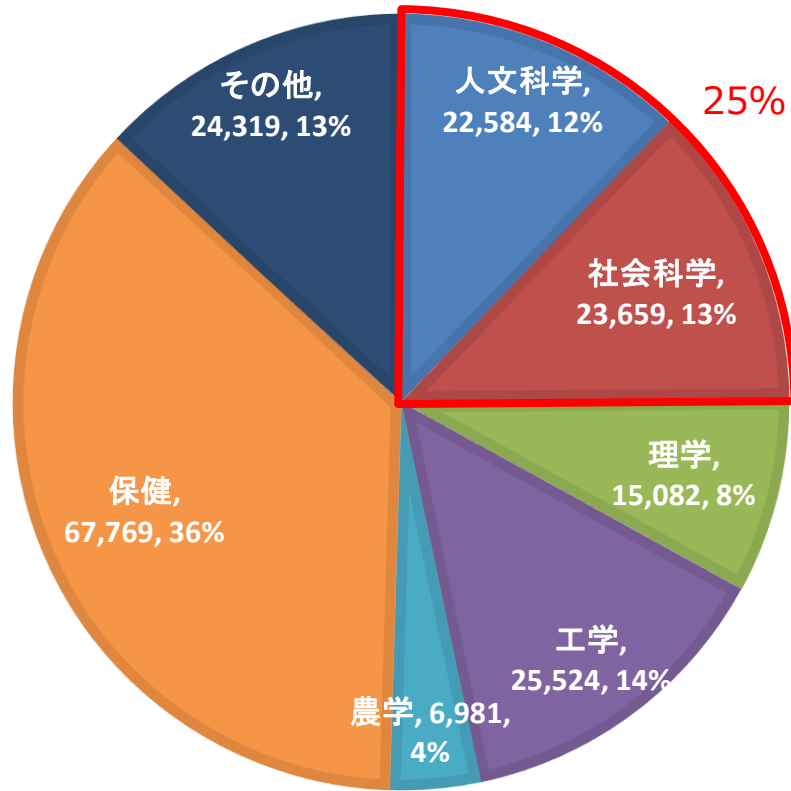
# 教員数



# 大学本務教員数（令和元年度）

- 本務教員全体に占める人文科学、社会科学分野の教員割合は約25%。
- 人文科学、社会科学分野の本務教員は私立大学に多い（約7割）。

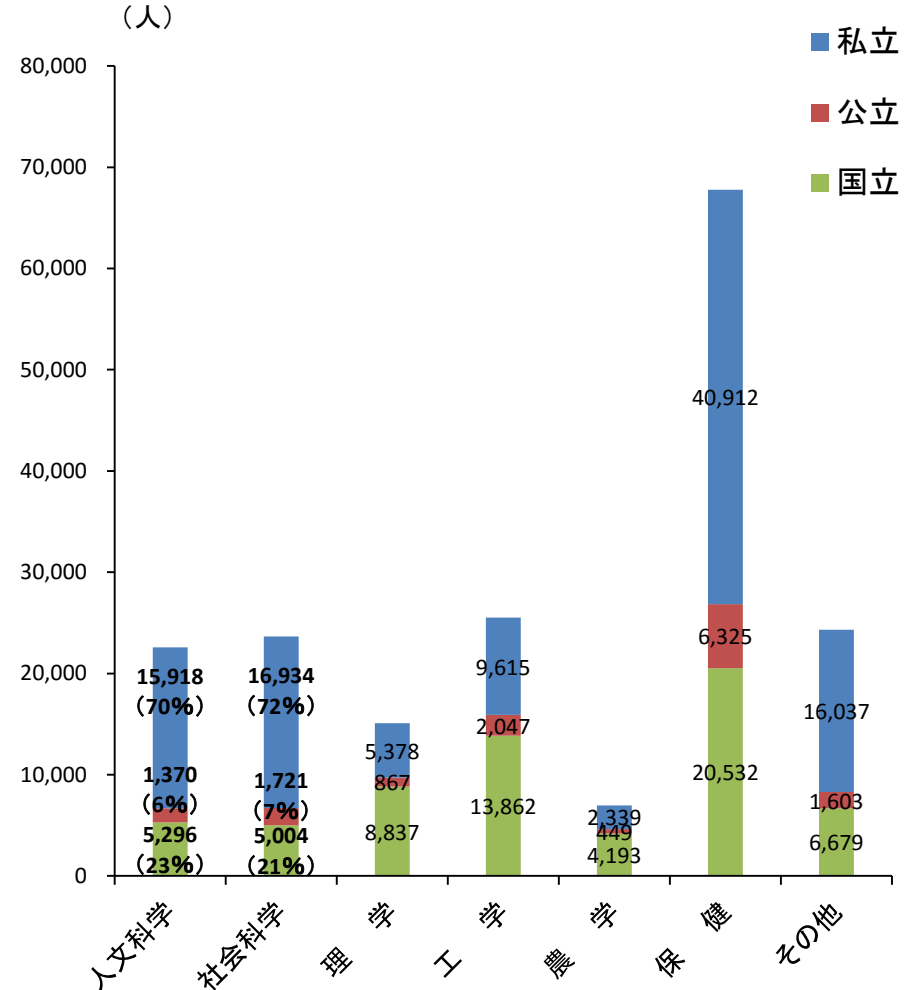
## 本務教員数（分野別割合）



■ 人文科学 ■ 社会科学 ■ 理学 ■ 工学 ■ 農学 ■ 保健 ■ その他

※「その他」は「芸術」、「教育」、「家政」、「商船」、「その他」の分野を含む

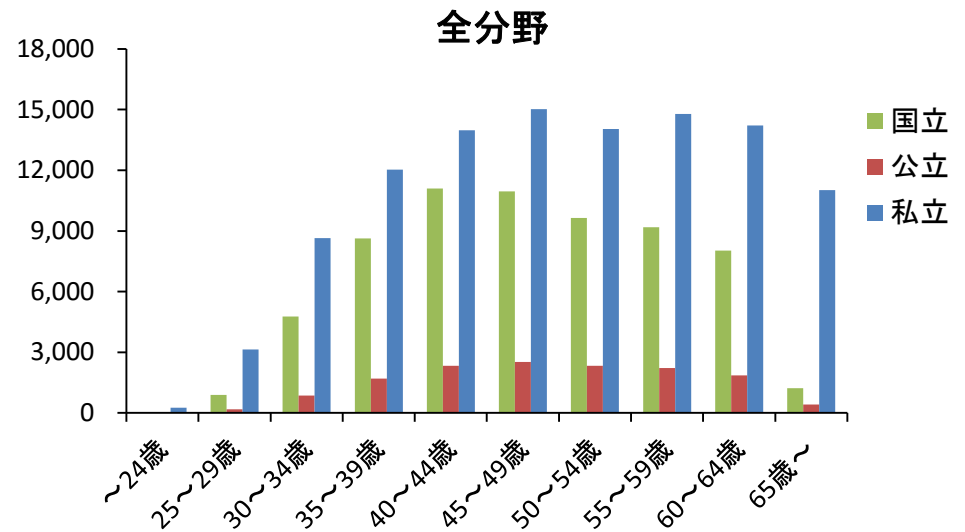
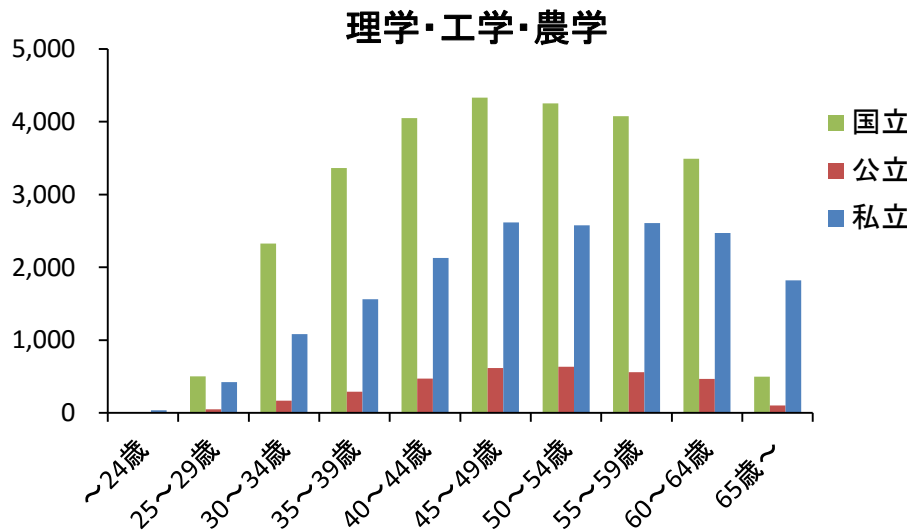
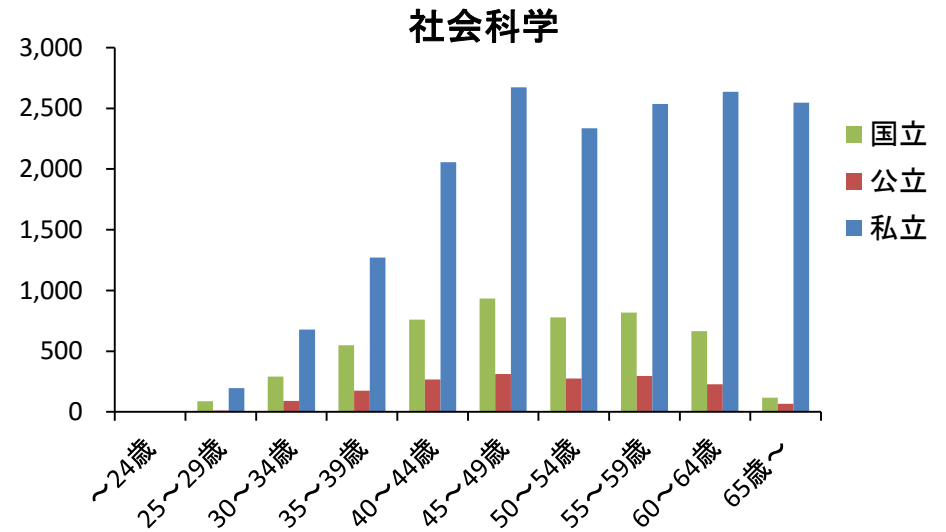
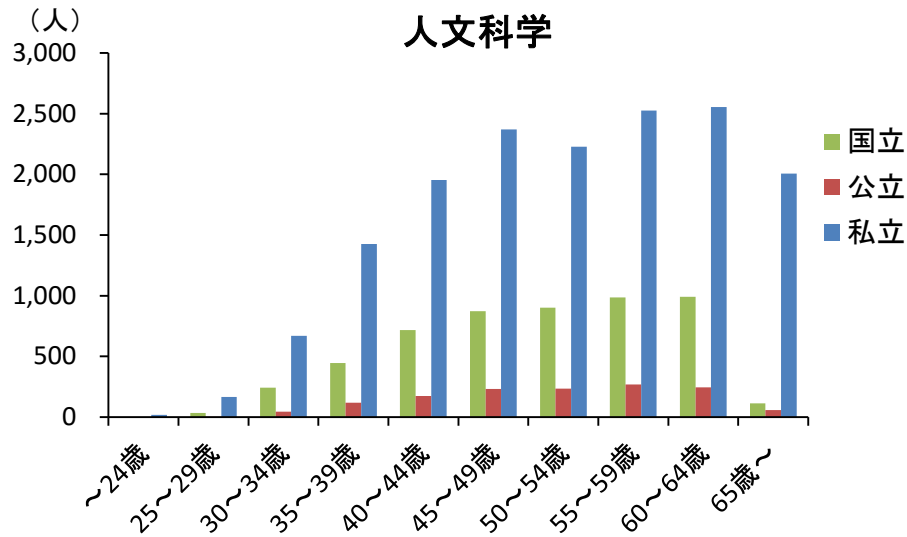
## 本務教員数（分野別）





# 大学本務教員数（令和元年度）

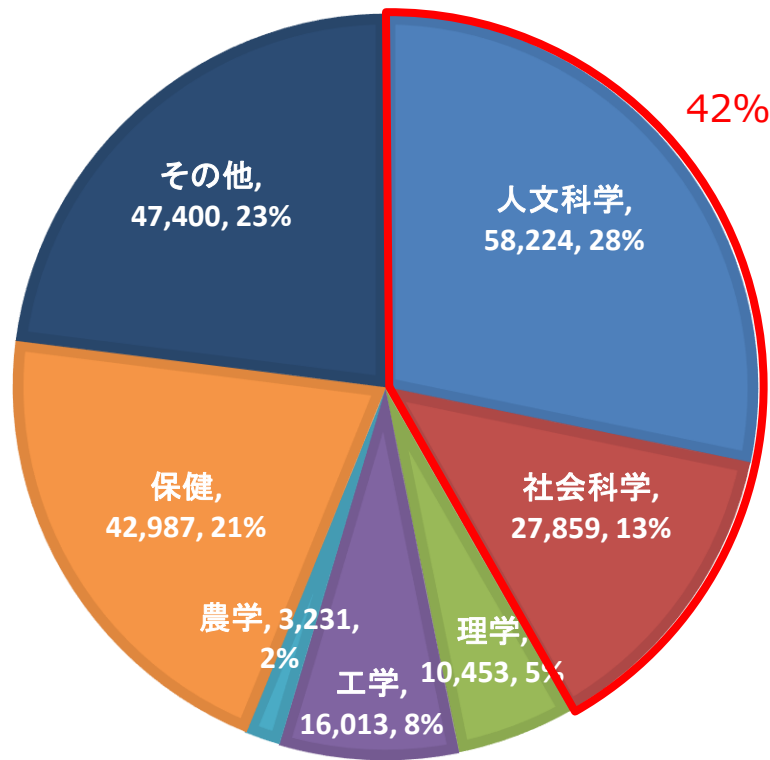
- 人文科学、社会科学分野の本務教員は、他の分野に比べて年齢層が高い傾向にある。



# 大学兼務教員数（令和元年度）

- 人文科学分野の兼務教員は、他の分野と比較して最も多い。
- 本務教員と同様に、人文科学、社会科学分野の兼務教員は私立大学に多い（約8割）。

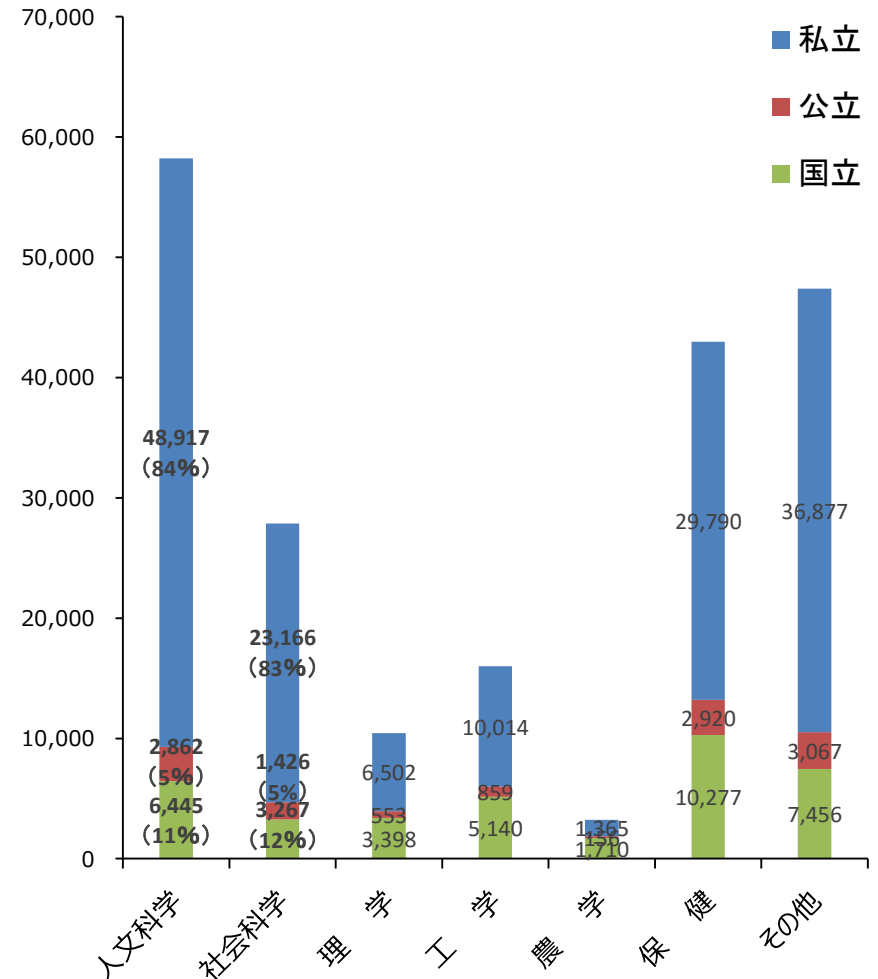
## 兼務教員数（分野別割合）



■ 人文科学 ■ 社会科学 ■ 理学 ■ 工学 ■ 農学 ■ 保健 ■ その他

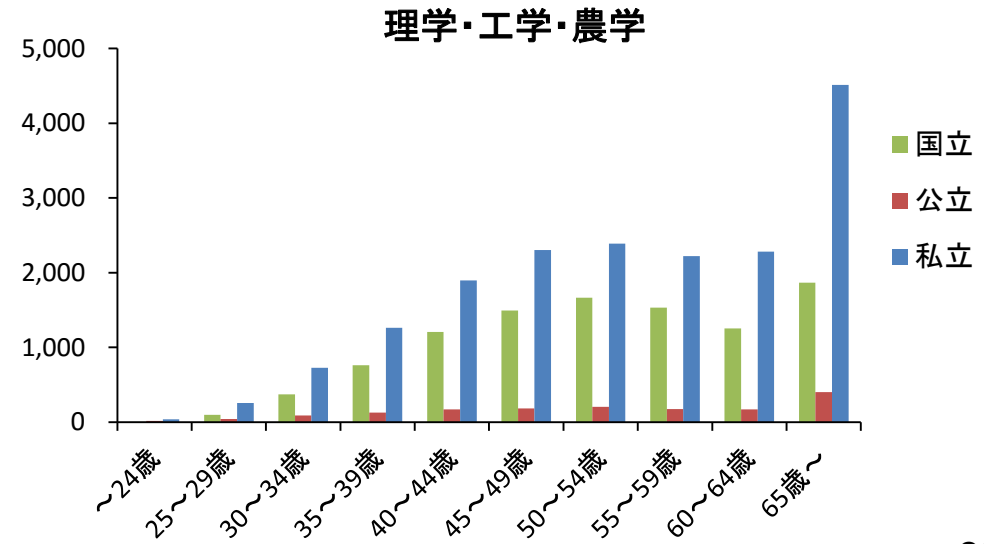
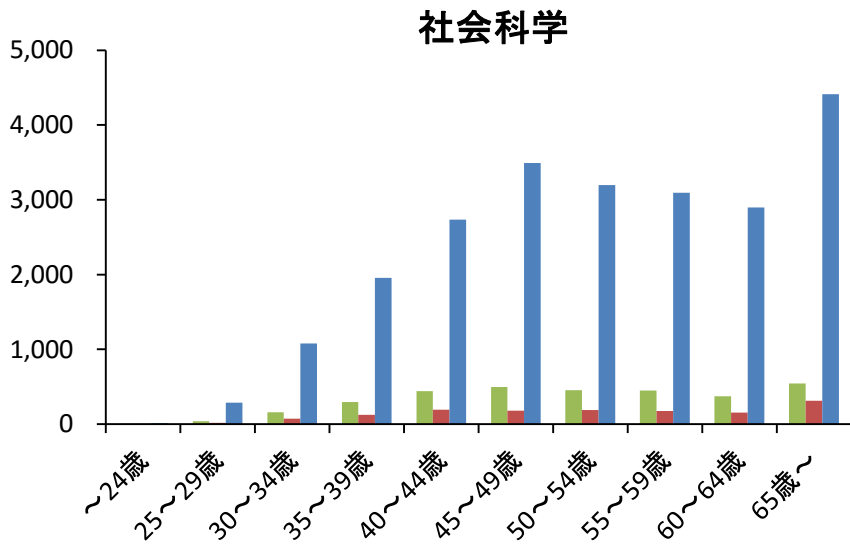
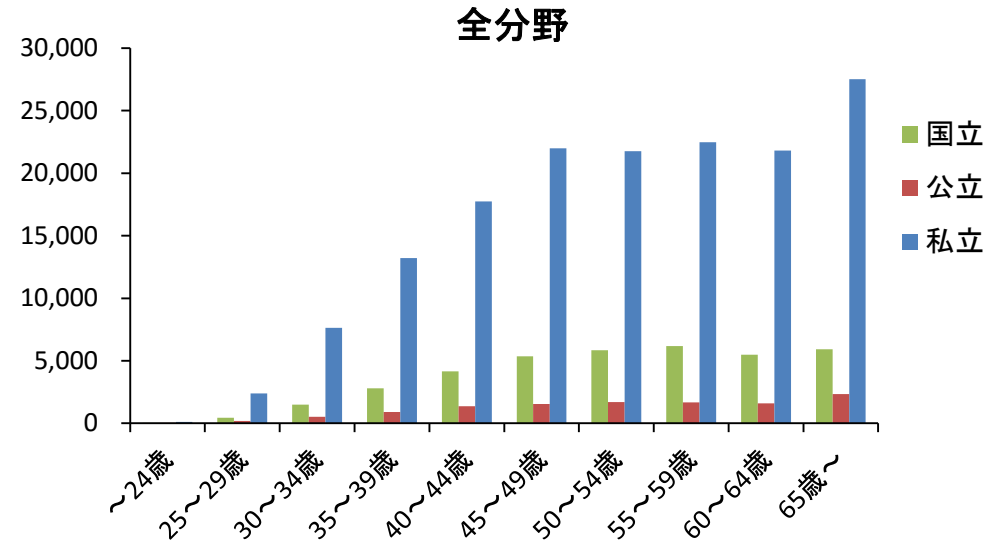
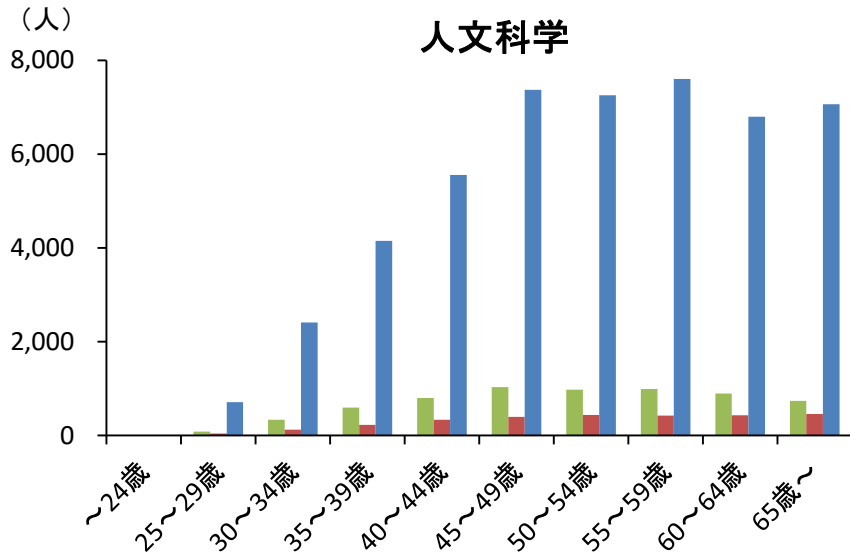
※「その他」は「芸術」、「教育」、「家政」、「商船」、「その他」の分野を含む

## 兼務教員数（分野・所属別）



# 大学兼務教員数（令和元年度）

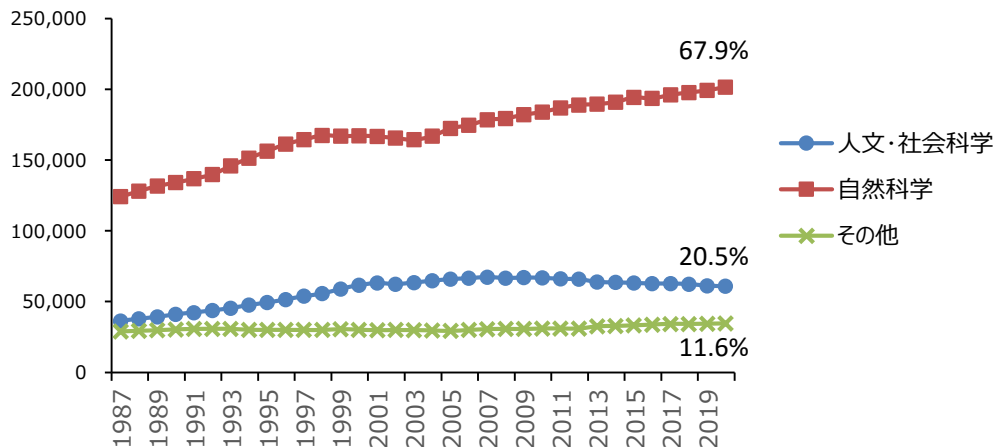
- 兼務教員は、本務教員に比べて、分野によらず年齢層が高い傾向にある。
- 特に理学・工学・農学分野では、65歳以上の兼務教員が多い。



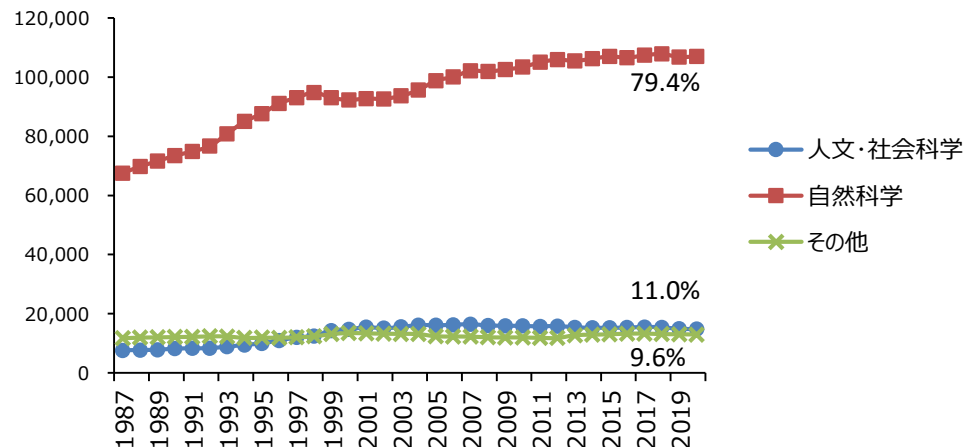
# 分野別研究者数

- 大学の研究者数は自然科学系を主軸に増加傾向。
- 人文・社会科学系は私立大学を中心に増加傾向にあったものの、近年は横ばい、あるいは微減の傾向。

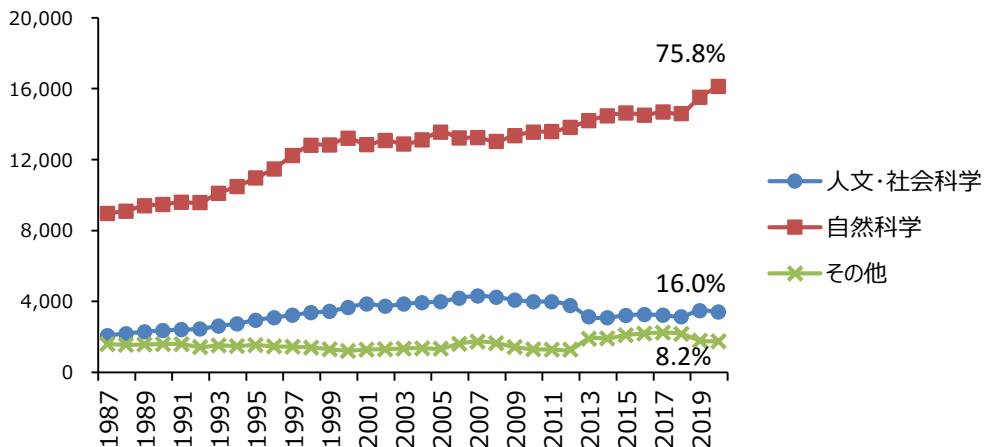
研究者数※（全大学）



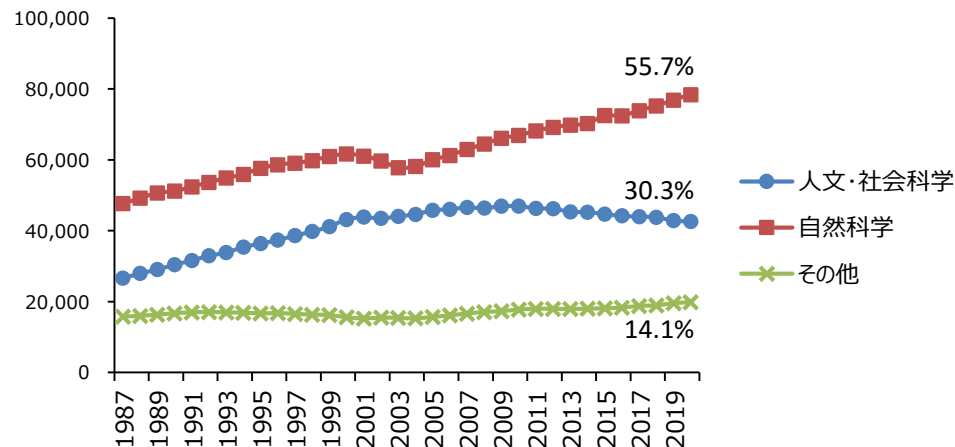
研究者数（国立大学）



研究者数（公立大学）



研究者数（私立大学）

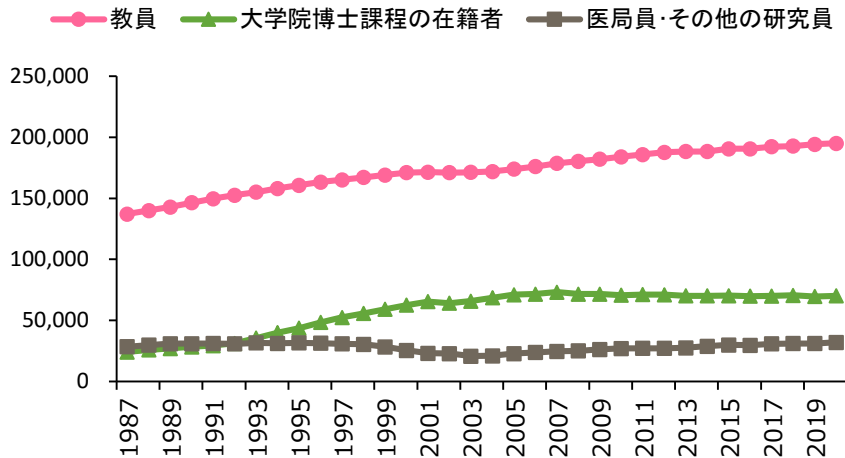


※研究者：大学（短期大学を除く）の課程を修了した者（又はこれと同等以上の専門的知識を有する者）であり、特定の研究テーマをもって研究を行っている者で、本務者（教員、博士課程在籍者、医局員、その他の研究員）もしくは兼務者を指す

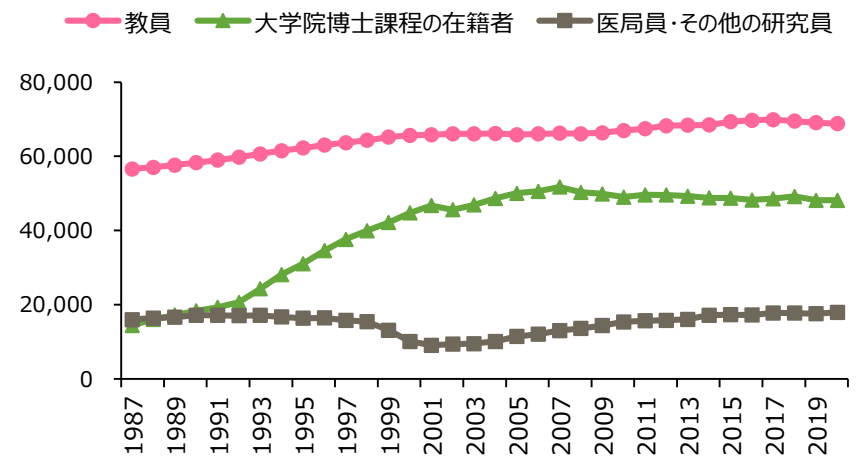
# 研究本務者の内訳（全分野）

- 国立大学では教員数はほとんど増えず、大学院課程在籍者が研究者数を押し上げている。
- 国立大学に比べて、公立大学及び私立大学では教員数が増加している。

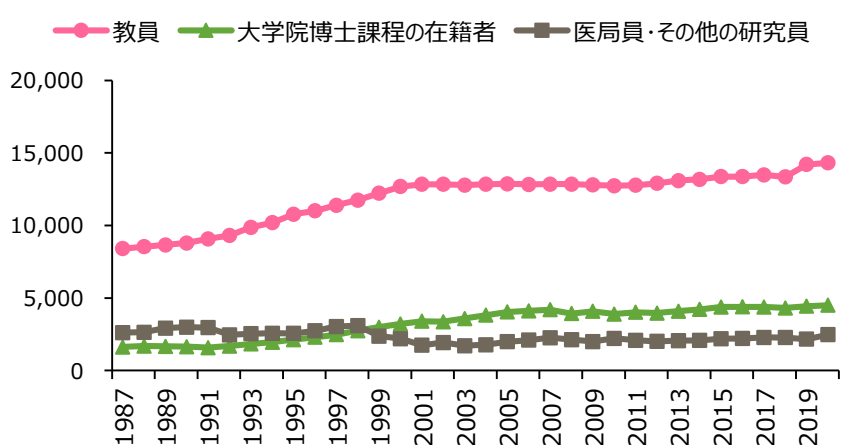
## 研究本務者の内訳（全大学）



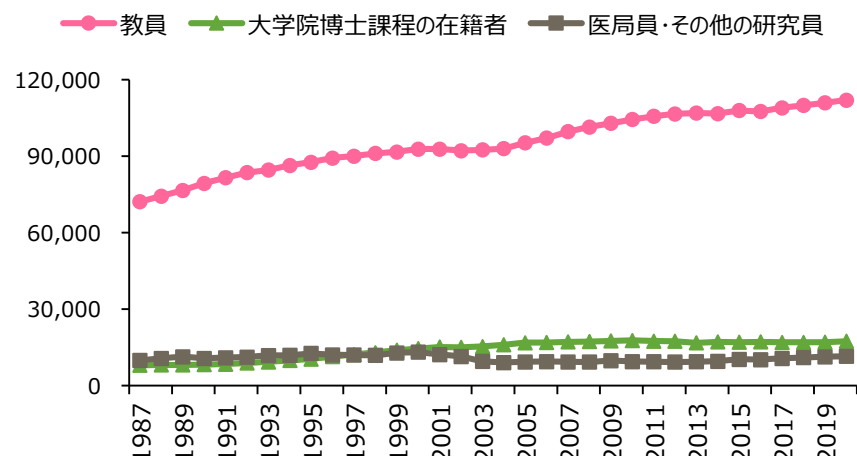
## 研究本務者の内訳（国立大学）



## 研究本務者の内訳（公立大学）



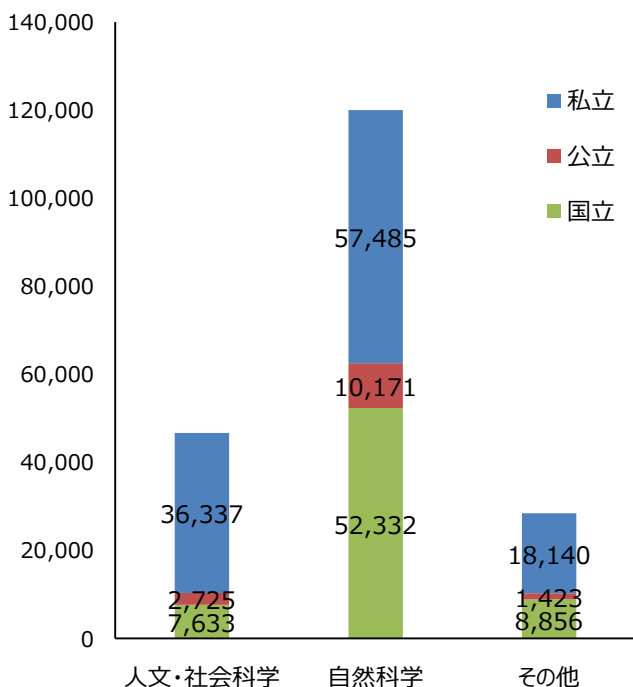
## 研究本務者の内訳（私立大学）



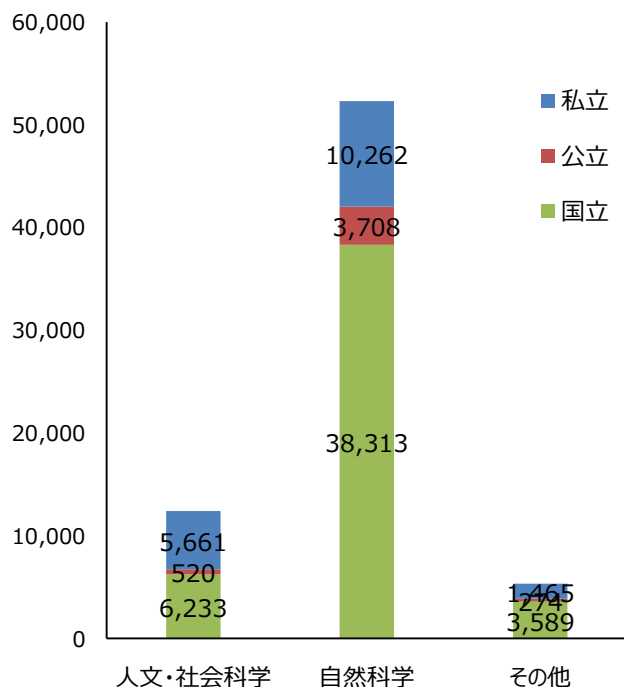
# 研究本務者の内訳

- 研究本務者の教員については私立大学が占める割合が大きく、人文・社会科学においてより顕著。
- 博士課程在籍者及び医局員・その他の研究員については国立大学が占める割合が大きい。

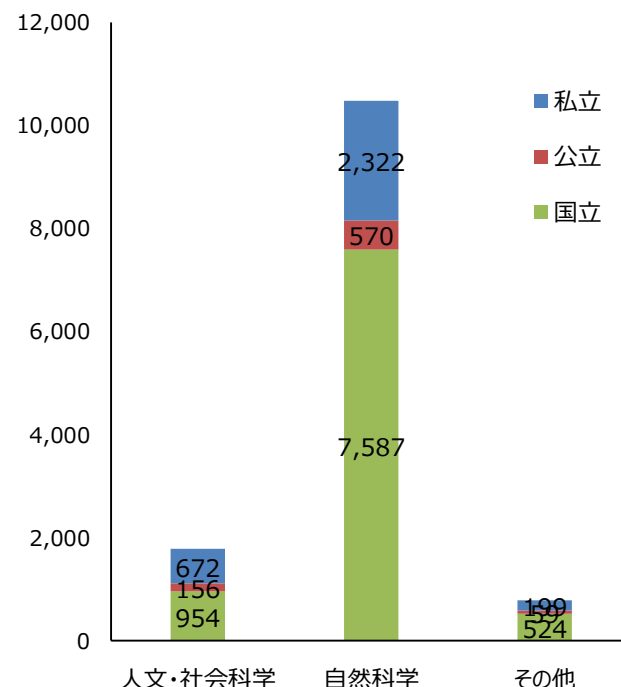
教員（研究本務者）



博士課程在籍者（研究本務者）



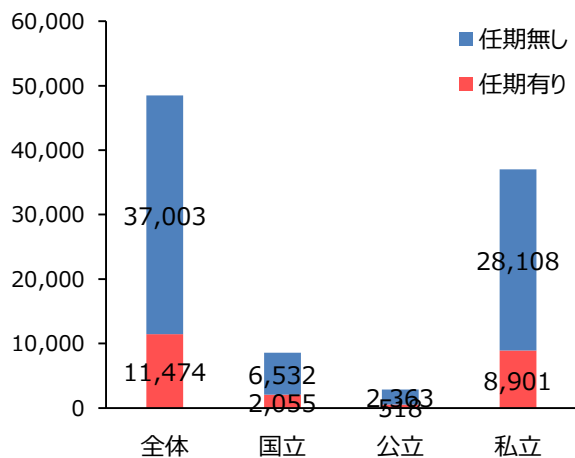
医局員・その他の研究員（研究本務者）



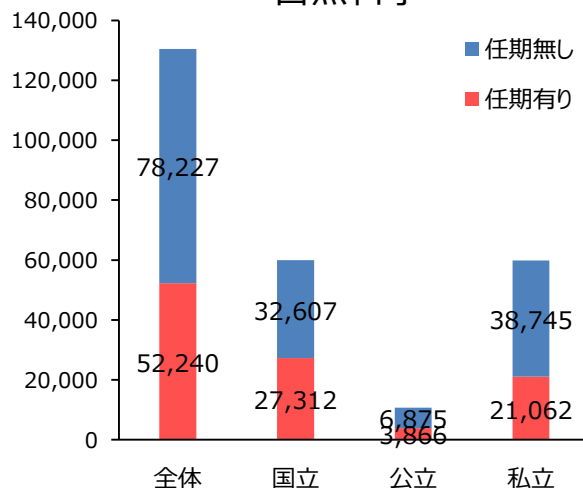
# 研究本務者の任期の有無

- 人文・社会科学系の研究本務者は、自然科学系に比べて任期無しの高割合が高い。
- 国立・公立・私立大学間において、任期の有無の割合については大きな差は見られない。

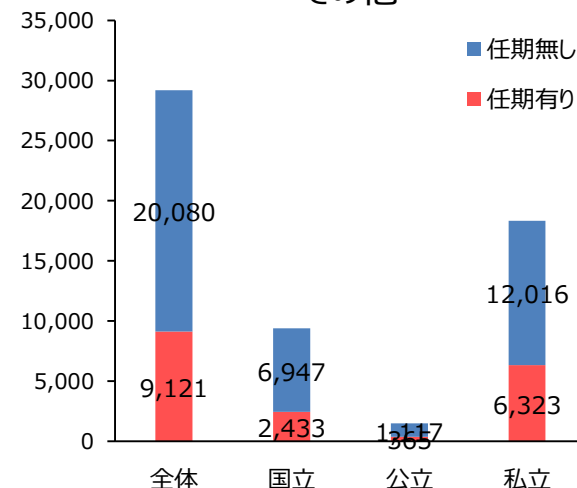
人文・社会科学



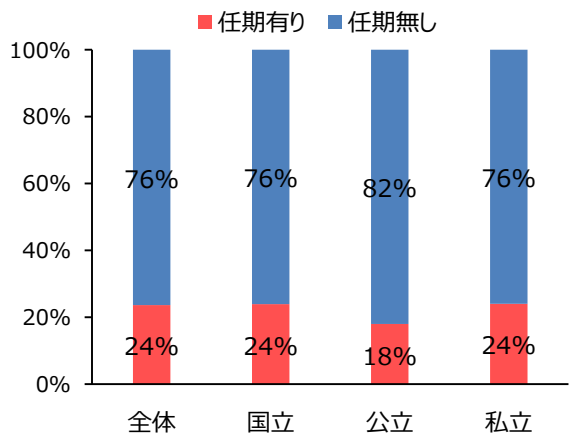
自然科学



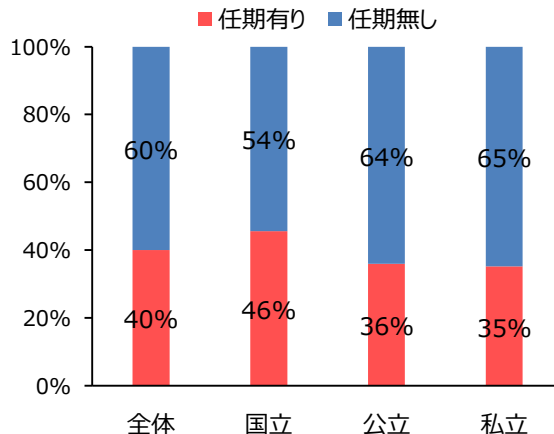
その他



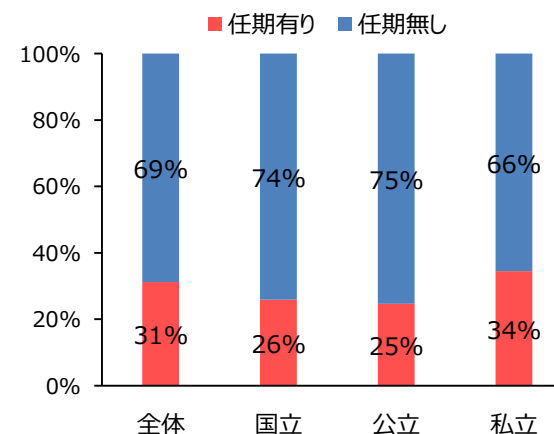
人文・社会科学



自然科学



その他



※任期無し: 任期無し研究者の定義は出典元に基づく。  
 ※任期有り: 研究本務者の教員及びその他の研究者のうち、任期無し研究者以外の者。